インナービューティ科 1年

ブライダルビューティ専攻



	—————————————————————————————————————	ホスピタリティ クラス名 Q1E							
			ホスピタリティ		クラス名				
	1年単位	前期	15 時間		15 時間		30 時間		
	2年単位 ————————————————————————————————————	前期	-	後期 - 2年合計単位 - 2年合計単位 -					
	LD 1/2 =# /			黒坂明子					
	担当講師	実務経験	有		通算8年おもてなし ティあふれる接遇を	の仕事に従事して を指導する。	きた経験を		
	目的及び概要	心理学の知見を応 を学びます。また。	が用し、自己分析に 人と人との関わりの	神を理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。前期では、 用し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性 、と人との関わりの中で他者を理解・受容し上手な交流のあり方を学び、将来顧客対応を キル向上を目指します。					
到達目標 自己肯定感を高め、自信を持って交流できるようになる。他を 上手に対応できるようになる。おもてなしの心を形にできるよ						共感できる感情能:	力を知り、		
	授業運営方法			演習形式	· (講義形式)				
	教科書		7	ホスピタリティマイン	ド養成ワークブック	ל			
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	,	-マ		授業内	容詳細			
第1回	1		テーション	ホスピ	タリティとは・・・ 定 	義とゴール(目的)	の確認		
第2回	2	自分自身の	フィードバック		他己紹介と絵り	こよる自分表現			
第3回	3	自分自身の	フィードバック	他己紹介と絵による自分表現					
第4回	4	ホスピタリティ	マインドの理解	ホスピタ	リティマインドとは・	・・人間力を高める	には・・・		
第5回	5	自己理解	·自己受容	まず	は自分を知ろう	心理学による自己	分析		
第6回	6	自己理解	·自己受容	人との関わり	方において強み弱	みに気づき、自己さ	枚善に繋げる		
第7回	7	ホスピタリティ	マインドの確立	「~のせい」か	いら「~のお陰で」に	切り替え、自己肯だ	定感を高める		
第8回	8	ホスピタリティ	マインドの確立	NOTOK感情をため込まないために・・・					
第9回	9	ホスピタリティ	マインドの確立	プラス思考とマイナス思考の違い					
第10回	10	振り	返り	DVD鑑賞					
第11回	11	他者理解	•他者受容		価値観とは	グループ討議			
第12回	12	他者理解	•他者受容	自分々	や他者のものの見る	方や考え方の違いる	≦知る		
第13回	13	他者理解	•他者受容		柔軟性を持ち、他	者受容力を高める			
第14回	14	期末	試験		期末	試験			
第15回	15	期末試験の研	雀認と振り返り		期末試験の解説	だと前期のまとめ			
	初回持ち物	テキスト、筆記用身							
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	ŀ	定期試験		実施しない			
	成績評価 基準(右記)	出席率	宁钿	試験	美施しない 平常				
,	成績評価 基準(右記合計点) 点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
,	点数249~200点 B評価 85%以上			普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
Ş	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	∱以下·課題補講未9	完了∙平常点授業妨害	雲39点以下の場合		

	科目名	ホスピタリティ クラス名 Q1E							
	 1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
		前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				黒坂 明子					
	担当講師	実務経験	有	客室乗務員として通算8年おもてなしの仕事に従事してきた経験を もとに、ホスピタリティあふれる接遇を指導する。					
	目的及び概要	心理学の知見を応 を学びます。また。	がで理解し、おもてなしの心を素直に表現できる人材の育成を目的とします。前期では、 5月し、自己分析による自己理解と自己受容を深め、改善点の気づきや行動変容の重要性 人と人との関わりの中で他者を理解・受容し上手な交流のあり方を学び、将来顧客対応を 3キル向上を目指します。						
	到達目標			流できるようになる なしの心を形にでき	。他者への配慮やきるようになる。	共感できる感情能.	力を知り、		
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書		7	ホスピタリティマイン	ド養成ワークブック	7			
	<授業計画>	後期							
回数	コマ数	テー	-マ	授業内容詳細					
第1回	1	ホスピタリテ	ホスピタリティの振り返り 前期の振り返り						
第2回	2	豊かな触れ合い ストローク(触れ合い)の理解							
第3回	3	豊かな触れ合い DVD鑑賞				鑑賞			
第4回	4	豊かな触れ合い				ストロークの演習			
第5回	5	豊かな角	虫れ合い	DVD鑑賞					
第6回	6	ホスピタリティ	マインドの発揮	印象ゲーム					
第7回	7	ホスピタリティ	マインドの発揮	印象ゲーム					
第8回	8	ホスピタリティ	マインドの発揮	印象ゲーム					
第9回	9	ホスピタリティ	マインドの発揮	心の4つの窓 第一印象の重要性					
第10回	10	サービス	スの本質		モノ的なサービス。	ヒヒト的なサービス			
第11回	11	サービス	スの本質		CSとお客	様の心理			
第12回	12	ホスピタリティコ	企業のもてなし	С	OVD鑑賞(オリエング	タルランド社の講演)		
第13回	13	ホスピタリティ1	企業のもてなし		ディズニーのお	もてなしとは・・・			
第14回	14	期末	試験		期末	試験			
第15回	15	期末試験の確	全認と振り返り		期末試験の解説	だと前期のまとめ			
	初回持ち物	テキスト、筆記用具、ノ	' —ト						
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	٢	定期試験		実施しない			
	成績評価 基準(右記)		出席率	宁 斯	試験	夫他しない 			
,	点数300~250点 A評価		90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
ļ	点数249~200点 B評価			普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
ļ	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験•	定期試験平均点半分	分以下∙課題補講未叧		害39点以下の場合		

	23.9((((2.7)11))							
	科目名	i	Tコミュニケーション	コミュニケーション クラス名 Q1E				
	1年単位	前期	_	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間	
	2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間	
			.	田中	みゆき			
	担当講師	実務経験	-	企業研修や大学で スキルを習得でき		いし、実務に活用で	きるパソコン	
	目的及び概要	技能は、必要不可	欠となっています。			『子メールなどインタ 「します。	マーネット利用の	
	到達目標	アプリケーションソ ビジネス文書の形	プトの基本操作を 式を理解する	理解する				
	授業運営方法			演習形式	· (講義形式)			
	教科書							
	<授業計画>			後	期			
回数	コマ数	•	-マ		授業内	容詳細		
第1回	1	Windows10	0基本操作 ————————————————————————————————————	Windows基本操	作・タイピング 			
第2回	2	文字(の入力	Word 基本操作	F・文字の入力・保存 	字 		
第3回	3	文章の編集 Word 文章の編集・ページ設定・印刷						
第4回	4	ビジネス文書の形式を覚えよう Word ビジネス文書の作成と編集						
第5回	5	オブジェク	オブジェクトの挿入 Word オブジェクトを活用した文書の作成					
第6回	6	表現力のある	る文書の作成	Word 表現力 <i>0</i>	ある文書の作成・	ブラウザで検索		
第7回	7	Gmail 1	基本操作	メールアドレス(の取得・Gmailの基準	 本操作		
第8回	8	表の挿え	入と編集	Word 表の挿 <i>刀</i>	と編集 • Gmail			
第9回	9	プレゼ	ン作成	PowerPoint 基	本操作			
第10回	10	Excel基	本操作	Excel 基本操作	作・式と書式設定			
第11回	11	オートフィ	ルの活用	Excel オートフ	ィルを活用した表 <i>σ</i>)作成		
第12回	12	ビジネス文	て書の作成	Word 表と図を	含むビジネス文書	の作成・長文		
第13回	13	試験	対策	Word 試験対領	ŧ			
第14回	14	期末	試験	Word 期末試馴	£			
第15回	15	期末試馴	険の解説	期末試験の解	説、カバーレター作	成		
	初回持ち物	教科書、クリアファイ	「ル、筆記用具					
		•出席率				筆記		
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加音楽	ŀ	定期試験	0	実技		
・授業参加意欲				⊅ ##	試験	美施しない 		
成績評価 基準(右記合計点) 出席率 点数300~250点 A評価 90%以上				優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上	
J	点数249~200点	点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上					60点以上	
,	点数199~150点	C評価	80%以上	%以上 やや劣る以上 ^{59点以下} やや劣る以上 40点以上				
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	予以下·課題補講未完	完了•平常点授業妨害	雲39点以下の場合	
			·					

	27. (XXXIII)								
	科目名		ビジネスマナー		クラス名	Q1	E		
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				宮﨑	愛子	•			
	担当講師	実務経験	有	老舗専門結婚式場へ勤務。新規から施行まで約400組の結婚式をプロスを					
	目的及び概要	・「マナーとは何か	違いを理解し、新社」「なぜ守る必要が 動に入る前に、ビシ	あるのか」を考え、		5 .			
	到達目標			を理解し、基本的なビジネスマナーを身につける。 ではなく、実践を通して体現できることを目標とする。					
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書			な	:L				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	-マ	授業内容詳細					
第1回	1	オリエンラ	テーション	授業の目的と狙い・講師紹介と学生自己紹介					
第2回	2	マナーの	D必要性	生マナーを学ぶ目的/学校生活でのマナー					
第3回	3			第一印象の重要性					
第4回	4	身だしなみの基本とポイント							
第5回	5	ごごうつつ	+ 0 #+		プラスの表情/	マイナスの表情			
第6回	6	しンホスマ	ナーの基本		気持ちの	良い挨拶			
第7回	7				お辞儀	の種類			
第8回	8			スマートな立居振舞					
第9回	9			敬語の種類/よく使う敬語					
第10回	10	言葉へ	づかい	あらたまった言葉/クッション言葉					
第11回	11			ビジネス会話のテクニック					
第12回	12		41. 4	電話	対応の基本マナー	/電話の受け方・か	いけ方		
第13回	13	電話	対応		さまざまな	電話応対			
第14回	14	試	験		期末	試験			
第15回	15	試験解記	ヴ·まとめ		期末試	験解説			
	初回持ち物			た	:L				
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	٢	定期試験		実技記			
	成績評価 基準(右記)	出席率	宁 钿	試験	美施しない 				
	成績評価 基準(右記合計点) 点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価	85%以上	以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点					
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上 59点以下 ~平均点半分以下 やや劣る以上 40点以上					
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	♪以下·課題補講未叧	完了∙平常点授業妨害	F39点以下の場合		

	27. 0. (IXAF) 117							
	科目名		ビジネスマナー		クラス名	Q1	E	
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間	
	2年単位	前期	ı	後期	-	2年合計単位	-	
				宮﨑	愛子			
	担当講師	実務経験	有	老舗専門結婚式場 デュース。 社会人として必要		・施行まで約400組 €レクチャーする。	の結婚式をプロ	
	目的及び概要	・「マナーとは何か	」「なぜ守る必要が	l t会人になる意識を あるのか」を考え、 ジネスマナーの基本	主体的に学ぶ。	ა		
	到達目標			ドビジネスマナーを して体現できること				
:	授業運営方法			演習形式 · 講義形式				
	教科書			なし				
	<授業計画>			後	期			
回数	コマ数	テー	-マ	授業内容詳細				
第1回	1	 - ビジネスパーソン	ノとしての心構え	学生と社会人の違い				
第2回	2	254900		オフィスのルール				
第3回	3			来客対応の基本マナー/受付・誘導・案内				
第4回	4	訪問∙来	客対応	入退室/席次のルール				
第5回	5			訪問のマナー/名刺交換				
第6回	6	12304	¬ + +		メール・SN	Sのマナー		
第7回	7	- ロンボ	ス文書		社内文書/	/社外文書		
第8回	8	6D.=	- -1		手紙のマナ-	一/宛名書き		
第9回	9	— — — — 般、	マナー	贈答とお返しのマナー				
第10回	10	A = 0		テー	ブルマナーの基本	✓和食・洋食のマナ		
第11回	11	- 食事の	マナー	日本料理・	西洋料理・中国料	理・その他各国の食	事マナー	
第12回	12			5	冠婚葬祭とは/そ;	れぞれのしきたり①		
第13回	13	→	のマナー		 それぞれの)しきたり②		
第14回	14	試	験		期末	試験		
第15回	15	試験解訓	说・まとめ		期末試	 験解説		
	初回持ち物			な	L			
		・出席率			0	筆記記		
	成績評価方法	・定期試験や小テス	٢	定期試験		実技語		
	15 (・授業参加意欲			- hma	実施しない		
ا	成績評価 基準(右記 	合計点) A評価	出席率 90%以上	定期 優れている以上	80点以上	平常 優れている以上	80点以上	
		B評価	85%以上				60点以上	
ķ	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
				・				

E	科目名 1年単位 2年単位 担当講師	前期前期	業界ガイド 15 時間	後期	クラス名	Q1			
E	2年単位		15 時間	後期					
E		前期							
E	担当講師		-	後期	-	2年合計単位			
E	坦 当			安藤	恵				
E	1 <u>=</u> = 100	実務経験	_			学校等で就職活動に して学生指導やサス			
	目的及び概要	話しを聞き、多くの	情報を収集し自分	の適正とマッチング	ブする職業に就くこ	ついて、その業界で とが出来るように理 字を把握した上で、コ	解を深める。ま		
	到達目標	各コース・業界の現	里解を深め後期に	向けてコース決定を	きする				
持	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			な	:L				
~	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	- マ	授業内容詳細					
第1回	1	美容業界	について	美容業界とはどんなものか					
第2回	2	職種·	戦種·資格 それぞれの職種について·コース別資格取得説明						
第3回	3	キャリア・	キャリアデザイン 職業人生を自らの手で主体的に構想・設計						
第4回	4	業界の方を招いてどんな仕事かを聞く①【エステ】							
第5回	5			業界の方を招いてどんな仕事かを聞く②【アロマ】					
第6回	6	業界に	ついて	業界の方を招いて	どんな仕事かを聞	(③【メイク】			
第7回	7			業界の方を招いて	どんな仕事かを聞	〈④【ブライダル】			
第8回	8			業界の方を招いて	どんな仕事かを聞	(⑤[ネイル]			
第9回	9	先輩か	らの話	各業界卒業生から	の話【からきめ1	回目】			
第10回	10	働く事に	こついて	働くとは一体どんな	な意味か				
第11回	11		0.5	SDGsについて①					
第12回	12	SD	us	SDGsについて②					
第13回	13	夏季休暇	 段の就活	夏季休暇中の就職	端活動·夏季休暇認 ************************************	黒題について			
第14回	14	期末 ⁻	テスト	期末テスト【から					
第15回	15	キャリア	ビジョン	人生・仕事において	て自分自身のなり	たい姿を考える			
	初回持ち物	筆記用具・A4ファイル(2穴タイプ)						
		•出席率			0	筆記			
j	成績評価方法	・定期試験や小テス	<u> </u>	定期試験		実技			
·授業参加意欲 成績評価 基準(右記合計点)			ᆘᆄᇴ	定期	計除	実施しない平常			
		A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
点	复数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
点	复数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
£.	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	}以下•課題補講未	· 完了•平常点授業妨害	39点以下の場合		

	22. (((((((((((((((((((((((((((((((((((
	科目名		就職ガイド		クラス名	Q1	E		
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間		
				安藤 恵					
	担当講師	実務経験	_			学校等で就職活動 して学生指導やサ			
	目的及び概要	就職活動の早期付授業を通じて、自己		より就職活動や試 j。	験内容に触れ意識	の向上を図る。			
	到達目標			就職活動に向い	ナて準備をする				
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書				:L				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	·	テーマ 授業内容詳細						
第1回	1		授業について シラバスの説明・就職活動の意識をする						
第2回	2	身だし	身だしなみ 授業の身だしなみ=就職の身だしなみ						
第3回	3	エニアグラム・自己分析							
第4回	4	就職活動のマナ一① 立ち居振舞い							
第5回	5	``	•	就職活動のマナー② 面接編					
第6回	6	言葉	遣い	敬語・好感をもたれ	れる話し方				
第7回	7			自分の強みを知る	うう				
第8回	8	自分と「	句き合う	自己PR•長所短所					
第9回	9			他己分析					
第10回	10	台护 陆	動準備	就職活動のスケジュール					
第11回	11		到午 佣	就職サイトについて(サイトから1社を絞る)					
第12回	12	キャリア	ビジョン	自分自身のなりた	い姿を考える				
第13回	13	志望	動機	業界志望動機					
第14回	14	ディスカ		ディスカッションと	ま・美容業界につい	NT			
第15回	15	期末·	テスト	期末テスト(SDGsI	こついて)ディスカッ	ション			
	初回持ち物	筆記用具・就活ファイル	レ(A42穴タイプ)						
		•出席率	-		0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・超業参加音数	.	定期試験		実技			
	・授業参加意欲 			宁 期	試験	デルレス に 平常			
	点数300~250点	A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価	85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以_						
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分		完了∙平常点授業妨害	₹39点以下の場合 		

	科目名 1年単位 2年単位	前期	就職ガイド		クラス名	Q1	E		
	· · · · · ·	前期							
	2年単位		15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
		前期	15 時間	後期	-	2年合計単位	15 時間		
				安藤	惠				
	担当講師	実務経験	_	_ 人事教育担当として、企業の採用や学校等で就職活動についてセミナ を担当、新入社員研修の経験を活かして学生指導やサポートを行う。					
E	目的及び概要	更に、志望する職	種・企業に対する耳	己PR記入、面接の 取り組みを個別に行 とが取れるよう活動	fい志望動機の指導	掌を行う。			
	到達目標	全員が就職活動に	□対する準備を万全	全にさせる					
ž	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書			な	:1				
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ 数	テー	-マ		授業内	容詳細			
第1回	1	専攻別	専攻別の業種 専攻別の業種・就職先について						
第2回	2	業種ごとの選択肢を知る 企業研究							
第3回	3	企業研究の仕方・応用と実践							
第4回	4	インターンシップ インターンシップ・エントリーにつ				・各種書類について	-		
第5回	5			自己分析					
第6回	6	自己	PR	自己PRの作成①					
第7回	7			自己PRの作成②					
第8回	8	++8	₹ ↓ +4k	志望動機の考えた	ī (1)				
第9回	9	志望		志望動機の考え方②					
第10回	10	計画を	立てる	就職活動の本格化・計画を立てる					
第11回	11	± 1	-	表現力の大切さ					
第12回	12	表现	記刀	表現力を身につけ	- る~実践~				
第13回	13	面接の)基礎	面接の基礎・模擬	面接の仕方				
第14回	14	期末 ⁻	テスト	期末テスト					
第15回	15	設問	対策	設問対策・春休み	の就職活動につい	τ			
	初回持ち物	筆記用具・就職ファイル	L .						
		•出席率			0	筆記			
J	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業券加音が	<u> </u>	定期試験		実技に実施しない			
	·授業参加意欲 成績評価 基準(右記合計点)			宁钿	試験	美施しない 			
	点数300~250点	A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上							
点 	复数199~150点	C評価	80%以上	以上 やや劣る以上 ^{59点以下} やや劣る以上 40点以上					
r	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分		完了∙平常点授業妨害			

		1		(),,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			1		
	科目名	1	ベントプロモーショ	7,57,1					
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	15 時間						
				担	担任				
	担当講師	実務経験	-			-			
	目的及び概要	学校生活や学校 協力してよりよい	行事を通して、人 学校生活を築こ	間関係を形成し うとする自主的、9	学校での集団行動 実践的な態度をこ	動やチームワーク の授業育てる。	などを深める。		
	到達目標		てよりよい生活や. 考えを深め、自己			態度を育てるととも	もに、自己の生		
	授業運営方法			演習形式	· (講義形式)				
	教科書				:L				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	·	-マ		授業内				
第1回	1		フマニュアル	スク		アル【出欠・再評	価】		
第2回	2	クラス目標 クラス目標・5月個人目標							
第3回	3	避難	訓練		避難訓練	について			
第4回	4	オリエン	テーション	オリエンテーション4回目(東京ディズニーランド)について					
第5回	5	コミュニケ	ケーション	動画から学ぶコミュニケーションスキル					
第6回	6	目標振	長り返り	5	5月個人目標振り	返り・6月個人目標	E C		
第7回	7	専攻に	ついて		各専攻資格・カリ	キュラムについて			
第8回	8	コミュニケ	ァーション	レクリエーション					
第9回	9	スポーツ	ノ大会①		スポーツ大会(競技)について				
第10回	10	オープン	キャンパス	目標	について・オープ	ンキャンパスにつ	いて		
第11回	11	期末テスト	トについて		定期試験	について			
第12回	12	ビューティーマナ	ー研修について		ビューティーマナ	一研修について			
第13回	13	スポーツ	ノ大会②		スポーツ大	会について			
第14回	14	スポーツ	ノ大会③	スポー	ツ大会について・	7月の個人目標振			
第15回	15	アンゲ	ケート	授美	業改善アンケート·		- -		
	初回持ち物	スクールライフマ	ニュアル、筆記用	具、AIEノート					
		・出席率				筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・超業参加音数	h	定期試験		実技			
・授業参加意欲 成績評価 基準(右記合計点) 出席率				定期	試験	デルレスい 			
,	点数300~250点 A評価 90%以上				80点以上	優れている以上	80点以上		
,	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
,	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下∙課題補講未叧	完了•平常点授業妨害	통39点以下の場合		

		ĺ						
	科目名	1	ベントプロモーショ	ン	クラス名	Q1	E	
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間	
	2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間	
				担	任			
	担当講師	実務経験	-		-	-		
	目的及び概要		行事を通して、人 学校生活を築こ			動やチームワーク の授業育てる。	などを深める。	
	到達目標		てよりよい生活や 考えを深め、自己			態度を育てるととも	もに、自己の生	
:	授業運営方法			7C II 77 - V	· 講義形式			
	教科書				:L			
	<授業計画>	_		後	期			
回数	コマ数		デーマ 授業内容詳細					
第1回	1	•	ライフ①	スクー			進級】 ——————	
第2回	2	目標設定 クラス目標・個人目標						
第3回	3	オープンキャンパス① 今後のオープンキャンパスの運営につ					て	
第4回	4	コミュニケーションスキル グルー				プワーク		
第5回	5	オープンキ	ヤンパス②	今後のオープンキャンパスの運営について				
第6回	6	クラスコミュ	ニケーション	学校生活っ	ディスカッション(より	J良い学校生活を送 	る為には)	
第7回	7	FUSIC:	ついて①		動画と	上概要		
第8回	8	FUSIC:	ついて②	1年生が出来る事 サプライズについて(ロッカー中身持ち帰り)				
第9回	9	FUS/27	ついて③	1年生が出来る事 サプライズについて				
第10回	10	FUS/CT	ついて④		サプライ	ズの作成		
第11回	11	FUSIC:	ついて⑤	į	胡末テストについて	・サプライズの作成	:	
第12回	12	FUSIC:	ついて⑥	ļ	朝末テストについて	・サプライズの作成	:	
第13回	13	FUSIC:	ついて⑥		サプライン	ズの作成		
第14回	14	2年生に	向けて	2年	手生に向けて・1年 <u>年</u>	生サプライズについ	τ	
第15回	15	修了式・フ	アンケート	修了式	・授業改善アンケー	-ト(ロッカー中身持	ち帰り)	
	初回持ち物	スクールライフマ	'ニュアル、筆記用	具、AIEノート				
		•出席率				筆記		
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	. 	定期試験		実技		
成績評価 基準(右記合計点)			出席率	定期	試験	平常		
J	点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上					80点以上		
ļ	点数249~200点	B評価	85%以上	上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以.				
,	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上	
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	予以下∙課題補講未写	完了•平常点授業妨害	膏39点以下の場合	

	シン・グハスネドリロ / ト 0.45								
	科目名 ————————————————————————————————————	1	斬生・消毒&救急ጰ ┌────	去	クラス名	Q1	E		
	1年単位	前期	-	後期	15 時間	1年合計単位	15 時間		
	2年単位	前期	-	後期					
				エステ <u>担</u>	3当講師				
	担当講師	実務経験	有	エステティシャン、 救急の大切さ・必要		経験をもとに衛生・	肖毒、		
	目的及び概要	身が感染したり、またの知識を身に付けま	こお客様に感染させ ₹す。そして、サロン	- 関してのルールが医療に準じた状況で行われます。お客様のお肌に直接触れることで、自分自客様に感染させてしまう場合もあります。お客様と自分自身が病気に感染しない為に、衛生・消毒。そして、サロン内では、突発的な事故やけがも起こる可能性があります。いつ何が起こっても迅こ救急法の基礎知識を学び応急処置がスムーズに出来るように学びます。					
	到達目標	衛生・消毒の基礎	知識の理解をし、	センター試験合格と	美容業界に出てか	らの一般常識を習	得すること。		
	授業運営方法			演習形式(講義形式				
	教科書		サロンでの	救急法/衛生・消毒	毒(日本エステティ)	ック業協会)			
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー	-マ	授業内容詳細					
第1回	1	シラバス・	授業説明	シラバス確認・授業説明・キレイの基準・美容業の守るへ					
第2回	2	救急	急法	常識と救急					
第3回	3	基礎知識と	∠ 応急処置	心肺蘇生法と止血					
第4回	4	簡単な手	当てと病気		症状別応	芯対法①			
第5回	5	主な事	钕∙けが		症状別応対法②				
第6回	6	まと	≤ め		センター試験	験問題対策 			
第7回	7	八血	衛生		公衆衛生	とは/歴史			
第8回	8	五次	用工	公约	公衆衛生の歴史/日本の衛生法規/小問題				
第9回	9	幸店 #	数生物	病原微生物の歴史					
第10回	10	1内 17	× 17/J	病原微生物の種類/小問題					
第11回	11	成為		感染と発症/3つの要因					
第12回	12	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	K:)IL	感染症法の対象疾患/予防対策/小問題					
第13回	13	まと	_ め		センター試験問題対策				
第14回	14	期末	試験		授業内範圍	囲から出題			
第15回	15	期末試	験返却		期末試験	返却•解説			
	初回持ち物	筆記用具·教科書	(上記記載のテキ	スト)・ノートもしくは、	ーーズリーフ(どち)				
		•出席率				筆記:			
	成績評価方法	・定期試験や小テス	٢	定期試験		実技			
	・授業参加意欲			ф±п					
j	成績評価 基準(右記合計点) 			定期 優れている以上	80点以上	平常 優れている以上	80点以上		
,	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験	定期試験平均点半分	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →		39点以下の場合		

	22.00((((2.7)11))								
	科目名		皮膚科学		クラス名	Q1	E		
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				大内	博子				
	担当講師	実務経験	有		ィック業協会認定腹 膚について指導を行	要、エステティシャン 行う	、インストラクター		
	目的及び概要	皮膚の構造を知り	、働きを知ることで	トラブルのおきない	い肌にするための知	1識を学ぶ			
	到達目標	自分のことだけで	はなく、お客様へ朋	Lのアドバイスができ	きるようになる				
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			なし					
	<授業計画>			前期					
回数	コマ数	,	-マ		授業内				
第1回	1		D構造 	皮膚科学の意味					
第2回	2	皮膚の	全体像 ————————————————————————————————————	皮膚として何をしているか					
第3回	3	皮膚の表	面と表皮	表皮と構成					
第4回	4	真皮と原	と下組織	真皮の構成成分					
第5回	5	付原	属器		汗腺・ノ	皮脂腺			
第6回	6	小ラ	ンスト		小テ	・スト			
第7回	7	生理	機能		皮膚全体と	しての機能			
第8回	8	保護	作用		守るようになっ	ている仕組み			
第9回	9	保湿	作用	İ	乾燥しないように	なっている仕組み			
第10回	10	感覚•4	>温調節	É	自律神経で勝手に	こしてくれていること	<u> </u>		
第11回	11	貯蔵作用・ビタ	ミンD生成作用		皮膚の傷を	さについて			
第12回	12	吸収	作用		及肩切皮方	161c 20. C			
第13回	13	テスト	·対策		テスト	·対策			
第14回	14	テン	スト		期末	テスト			
第15回	15	返	却		返却・答え合	合わせ、解説			
	初回持ち物	皮膚科学のテキ	ストとノート						
		・出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・超業参加音数	h	定期試験		実技			
·授業参加意欲 成績評価 基準(右記合計点)			出席率	完	試験	デルレない 			
			90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価	85%以上	上 普通以上 60点以上 普通以上 60点					
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下·課題補講未完	完了•平常点授業妨害	39点以下の場合		

	> グ・バ(及来) 1日 /										
	科目名		皮膚科学		クラス名	Q1	E				
	1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間				
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-				
				大内	博子						
	担当講師	実務経験	有		ィック業協会認定腹 膚について指導を行	要、エステティシャン 行う	、インストラクター				
	目的及び概要	皮膚の構造を知り	、働きを知ることで	トラブルのおきない	い肌にするための知	1識を学ぶ					
	到達目標	自分のことだけで	はなく、お客様へ肌	しのアドバイスができ	きるようになる						
	授業運営方法			演習形式	講義形式						
	教科書				:L						
	<授業計画>			後期 授業内容詳細							
回数	コマ数	,	ーマ								
第1回	1		の構造			学の意味 					
第2回	2	皮膚の	全体像	皮膚として何をしているか							
第3回	3	皮膚の表	面と表皮	表皮表皮表皮と構成							
第4回	4	真皮と原	皮下組織	組織 真皮の構成成分							
第5回	5	付原	属器		汗腺・ノ	皮脂腺					
第6回	6	小ラ	-スト		小テ	・スト					
第7回	7	生理	機能		皮膚全体と	しての機能					
第8回	8	保護	作用		守るようになっている仕組み						
第9回	9	保湿	作用	乾燥しないようになっている仕組み							
第10回	10	感覚•体	温調節	自律神経で勝手にしてくれていること							
第11回	11	貯蔵作用・ビタ	ミンD生成作用		中虚の原系	さについて					
第12回	12	吸収	.作用		及屑の後ろ	זפוב אוינ					
第13回	13	テスト	·対策		テスト	√対策					
第14回	14	テン	スト		期末 ⁻	テスト					
第15回	15	返	却		返却・答え合	合わせ、解説					
	初回持ち物	皮膚科学のテキ	ストとノート								
		•出席率			0	筆記					
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲		定期試験		実技					
	成績評価 基準(右記)	出席率	宁 斯	試験	夫他しない 						
	点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上				
	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上				
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上				
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半纪	分以下∙課題補講未叧	完了•平常点授業妨害	39点以下の場合				

	科目名 生理学 クラス名 QIE					 1E				
		前期		時間	7711					
		前期		時間		— IO h4lili	2年合計単位	30 時間		
			1	213		L 木 圭	- 1			
	担当講師	実務経験	有		スポーツトレーナ- 伝えていく。	ーの経験を元にカラ	があけ組み(解剖	・運動生理学)を		
	目的及び概要	せん。骨や筋肉や	内臓機能など	どの解	整えるためには、兵 引生理学、脳、神 その基礎知識を学び	身体の内部の構造: 経系やストレスなど ゾます。	を知らないと働きか 「の心身生理学、運	けることができま動などの身体活		
	到達目標	エステティシャンセ	ンター試験に	に対する基礎知識を習得していく。						
:	授業運営方法			演習形式・「講義形式」						
	教科書					生理学				
	<授業計画>				前	期				
回数	コマ数	·	-マ				容詳細			
第1回	1		あらまし		t	こトとは、人体の反		<u> </u>		
第2回	2		成り立ち 	細胞・組織・器官						
第3回	3		各系 —————	骨とは						
第4回	4	骨村	各系 —————	全身の骨格						
第5回	5	筋	系			筋。	<u></u> とは			
第6回	6	筋	系			全身(の筋肉			
第7回	7	筋	系		全身の筋肉					
第8回	8	神糸	圣系		神経系のあらまし					
第9回	9	神糸	圣系		中枢神経					
第10回	10	神糸	圣系		末梢神経					
第11回	11	感覚	器系		感覚器のあらまし					
第12回	12	感覚	器系		皮膚・眼・耳・鼻・舌					
第13回	13	期末テン	スト対策		セエステティシャンセンター試験筆記例題集					
第14回	14	期末·	テスト			授業内	内範囲			
第15回	15	期末テン	スト返却			フィート	・バック			
	初回持ち物				解剖生理学テキ	Fスト・筆記用具				
		・出席率				0		試験		
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	<u> </u>		定期試験		実施しない			
	*授業参加息飲 成績評価 基準(右記合計点)		出席率		定期	 試験	平常			
J	点数300~250点 A評価			=	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
,	点数249~200点	B評価	85%以上	=	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
,	点数199~150点	C評価	80%以上	-	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未	受験•	定期試験平均点半分	分以下•課題補講未写	完了•平常点授業妨害	害39点以下の場合		

	—————————————————————————————————————	生理学 クラス名 Q1E							
		3£ 115							
	1年単位	前期					30 時間		
	2年単位 ————————————————————————————————————	前期	15 時間	時間 後期 - 2年合計単位 15 時間 佐々木 圭					
	担当講師	実務経験	有	スポーツトレーナーの経験を元にカラダの仕組み(解剖・運動生理伝えていく。					
	目的及び概要	せん。骨や筋肉や	内臓機能などの解		身体の内部の構造: 経系やストレスなど がます。				
	到達目標	エステティシャンセ	ンター試験に対す	する基礎知識を習得していく。					
	授業運営方法			演習形式	・(講義形式)				
	教科書		7	生理解剖学(日本工	ステティック業協会	;)			
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー	- マ		授業内	容詳細			
第1回	1	消化	器系		消化器系	のあらまし			
第2回	2	消化	器系	胃・肝臓					
第3回	3	消化	器系	系 小腸·大腸					
第4回	4	呼吸器系 呼吸とは				とは			
第5回	5	呼吸	器系		気道	1•肺			
第6回	6	循環	器系		循環器系	のあらまし			
第7回	7	循環	器系		心臓血管系	系・リンパ系			
第8回	8	血	液		血液の	の成分			
第9回	9	内分	泌系		内分泌の)あらまし			
第10回	10	内分	泌系	視床下部·甲状腺					
第11回	11	内分	泌系	膵臓・副腎					
第12回	12	泌尿	器系	泌尿器系とは					
第13回	13	期末テス	スト対策	エステティシャンセンター試験筆記例題集					
第14回	14	期末	テスト		授業四	内範囲			
第15回	15	期末テス	スト返却		フィート	・ バック			
	初回持ち物			解剖生理学テキ	キスト・筆記用具				
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	<u> </u>	定期試験		実施しない			
	成績評価 基準(右記)	出席率	定班	試験					
j	点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
点数249~200点 B評価 85%以上			普通以上	60点以上	普通以上	60点以上			
,	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
点数149点以下 D評価 期末試験未			期末試験未受験	定期試験平均点半	分以下•課題補講未完	完了•平常点授業妨害	 39点以下の場合		

				()				
	科目名		栄養学					
	1年単位	前期	15 時間	後期	-	1年合計単位	15 時間	
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-	
				石毛	彩花			
	担当講師	実務経験	有	 栄養の基礎知識を アドバイス力を高め		サロンでの経験をも	とに栄養の知識	
	目的及び概要		食べ物で体はでき の原因となるもの)		、食べたいものを造	選ぶのではなく、必要	要なものは何か、	
	到達目標	お客様へ説明でき	・るような食品・栄養	を素の知識を深める かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かんかん かん				
;	授業運営方法			演習形式	講義形式			
	教科書				養学			
	<授業計画>			前	期			
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細		
第1回	1	栄養学	学とは		栄養学(の考え方		
第2回	2	体と	栄養 	体の構成要素				
第3回	3	摂取エネ	ルギー量	食べていい量・貯蔵カロリー				
第4回	4	栄養素 <i>の</i>	けたらき		栄養素	の種類		
第5回	5	たんぱく	質∙脂質		3大栄養素の	考え方(前半)		
第6回	6	糖	質		3大栄養素の	考え方(後半)		
第7回	7	ビタミン・	ミネラル		ビタミン・ミネ	マラルの構成		
第8回	8	食品の分類	と組み立て		バランスのと	れた食事とは		
第9回	9	食生活	と健康		さまざまな病	気になる原因		
第10回	10	食生活	と美容		美容に良い	或分と摂取法 		
第11回	11	センター試	は験問題集		センター	試験問題		
第12回	12	センター記	は験問題集		センター	試験問題		
第13回	13	テスト	·対策		センター	試験問題		
第14回	14	テ	スト		期末	テスト		
第15回	15	返	却		解	記		
	初回持ち物	栄養学の教科書	(6番)・ノート	• 筆記用具				
		•出席率			0	筆記		
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	.	定期試験		実技記		
	式 大 生 本 本 本 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	出席率		≣-∔Æ¢				
,	成績評価 基準(右記合計点) 点数300~250点 A評価			定期 優れている以上	80点以上	平常 優れている以上	80点以上	
r.	 点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上	
	L Net	○雪本体	00% 151 -	80%以上 やや劣る以上 ^{59点以下} やや劣る以上 40。				
,	点数199~150点	C評価	80%以工	でもみる以上	~平均点半分以下	でである以上	40点以上	

	科目名	東洋西洋セラピー クラス名 Q1E							
	1年単位	前期	15 時間	後期	-	1年合計単位	15 時間		
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				平手 奈々					
	担当講師	実務経験	有			客様のニーズに合え う幅広く指導をする	つせた様々な接		
	目的及び概要	実際に店舗で行れ標としています。帽 ロンの運営に活か	国広い知識を習得す	── 洋の様々なメニュ- 「ることでお客様に	ーの知識を身につい 合わせたアドバイン	ナ、応用技術に対応 ス・コース提案力を∮	できる学習を目		
	到達目標		固	固定観念にとらわれず、癒しについて学ぶ					
	授業運営方法			演習形式・(講義形式)					
	教科書		(1	エステティック概論・東洋西洋セラピー					
	<授業計画>			前 期					
回数	コマ数	テ-	ーマ		授業内	容詳細			
第1回	1	エステとセラ	ラピーの違い	求められるニーズ・東洋医学の歴史					
第2回	2	東洋·	セラピー	アユールベーダについて					
第3回	3	東洋·	セラヒ゜ー	中医学について・陰陽説・五行説					
第4回	4	東洋・	セラピー		自分を知ろう	(陰陽・五行)			
第5回	5	東洋・	セラピー	気	•血•水•医食同源	・気功・カッピング療	 法		
第6回	6	東洋・	セラピー		耳つぼ療法	やってみよう!!			
第7回	7	西洋七	ヹ ラピー		アロマ	テラピー			
第8回	8	西洋セ	2 ラピー		リフレクソロジ	・ポトロジー			
第9回	9	西洋七	! ラピー		リンパドレナージ	ュ・タラソテラピー			
第10回	10	西洋セ	? ラピー	ストーンセラピー体験					
第11回	11	西洋セ	ヹ ラピー	カラーセラピー					
第12回	12	西洋セ	! ラピー	アートセラピー①					
第13回	13	グループディ	ィスカッション	グループで癒しのコースを立ててみよう!!					
第14回	14	期末	試験		期末	試験			
第15回	15	お楽し	み授業		テスト返却・ア	ートセラピー②			
	初回持ち物	テキスト/筆記用具							
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・将業参加音楽		定期試験		実技			
				ф #	 試験	実施しない平常			
	点数300~250点	A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下·課題補講未	完了•平常点授業妨害	₹39点以下の場合		

	NDA			1=4	,		_		
	科目名 ————————————————————————————————————	I	ステティック実技理 	I	クラス名	Q1			
	1年単位	前期	15 時間		15 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	15 時間						
				鮎川 静菜					
	担当講師	実務経験	有		経験を元に実技で を高めるよう指導す	行う為の知識を習得 る。	計させ、		
	目的及び概要	使用化粧品の知識	戦を深めます。お客		的な技術を提供す	き忌事項・マナーを ⁵ るために、カウンセ と学びます。			
	到達目標	【概論】エステティジ 【エステティック実 【カウンセリング】 a	技理論】エステティ	¥する ック実技を行う上で ーションをはかり接	の基礎知識の習得 客することができる	‡ oようになる			
:	授業運営方法			演習形式 · 講義形式					
	教科書	エステ	ティック概論・エスラ	テティックカウンセリング・フェイシャル実技理論・ボディ実技理論					
	<授業計画>			前期					
回数	コマ数	テー	-マ		授業内				
第1回	1	エステテ	ィックとは	授業ルール・エステティックとは・エステティシャンの仕事					
第2回	2	マッサー	ジの基礎	概論・ボディ使用化粧品・手指名称					
第3回	3	禁忌事項・施術前力・	ウンセリングについて	概論・禁忌事項・施術前カウンセリング・BMI					
第4回	4				ナノユ・今ラ・カル=	ライト・便秘について			
第5回	5	カウンセリン	ッ グについて		<u>~~~</u> ~~	ハロ・コヌ代のに ついて			
第6回	6				カウンセリング・オ	プションについて			
第7回	7	クレンジ	ングとは	7:	ェイシャル化粧品・・	クレンジングについ	τ		
第8回	8	ツボ・表	情の名称	ツボ	ツボの位置・トリートメントの流れ・表情の違い				
第9回	9	肌タ	イプ	肌タイプの分類・混合肌と乾燥性脂性肌の違い					
第10回	10	ハンド洗顔	・スチーマー	ハンド洗顔準備物・スチーマーの使い方・効果について					
第11回	11	エレクトロク	ルンジング	エレクトロクレンジング準備物・ニキビ・シワについて					
第12回	12	肌トラブル	しについて	肌トラブルの原因・改善方法について					
第13回	13	カウンセリン	グについて	カウンセリングについて					
第14回	14	期末	試験		期末	試験			
第15回	15	返	却		期末試	験返却			
	初回持ち物	筆記用具、エステ実技	ファイル						
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加音楽	ŀ	定期試験		実技記			
	•授業参加意欲 			ф #	試験	美施しない 			
	成績評価 基準(右記合計点) 出席至 点数300~250点 A評価 90%以			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
Я	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
Я	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下 ————————————————————————————————————	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	う以下・課題補講未写	完了•平常点授業妨害	₹39点以下の場合		

2年単位 前期 15 時間 後期 2年合計単位 15 時間 2年7十07の歴史や版状を学びます。技術科で多心した効果的な技術を提供するために、カウンセリングの表面のあるう海海する。		科目名	エ	ステティック実技理 -	!論 ·	クラス名	Q1	E		
# 担当講師 実務経験 有 エステナロンでの経験を元に実技で行う為の知識を習得させ、		1年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	1年合計単位	30 時間		
担当講師 実務経験		2年単位	前期	15 時間		-	2年合計単位	15 時間		
実務経験 有				<u> </u>	鮎川	静菜				
日的及び概要 使用化粧品の知識を素めます。お客様に安心して効果的な技術を提供するために、カウンセリングやホーム アアド・バスなど、実際のサロンでお客様に関した時に対応できるスキルを学びます。 「概論]エステティンや大き世解する 「エステティンを大り支持理論」エステティンク実践を行う上での基礎知識の音符 (カウンセリング]お客様とコミュニケーションをはかり接寄することができるようになる 授業産営方法 演習形式 講義形式 教科書 エステティック機論・エステティックカウンセリング・フェイシャル実技理論・ボディ実技理論 〈授業計画〉 後期 回数 コマ数 テーマ 授業内容解細 第1回 1 復習 後期の流れ確認・前期の復習・化粧品を機器について 第2回 2 ブランの効果 ブラン洗顔準備物・手順・注意事項・禁忌事項 第3回 3 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入準備物・手順・注意事項・禁忌事項 第4回 4 パター・野菜マスク パター準備物・手順・注意事項・禁忌事項・効果・野菜マスク 第5回 5 ゴマージュ・パック ゴマージュ・パック ゴマージュを備物・バックについて(ミネラル・石膏バック) 第6回 6 別に合わせた ドリートメントブランが できるようになる 第9回 7 別に合わせた ドリートメントブランが できるようになる 第9回 9 第10回 10 日頭試問についての説明・本番ベアの口頭試問カンペ作成 第11回 11 センター対策 コンサル作成〜完成 第12回 12 日頭試問についての説明・本番ベアの口頭試問カンペ作成 第12回 12 日頭試験 期末試験 期末試験 第13回 14 期末試験 第末試験 第末試験 第14回 14 期末試験 第末試験 第末試験 第15回 15 答案返却 フィードバック 初回持ち物 生記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 佐橋評価方法 定期試験やホテスト 定案事項を次 実施にない(提出物) 広橋辞価 基準に記念を対し 出席率 定期試験 実施しない(提出物) 広橋辞価 基準に記念を 実施しない(提出物) 「根本でいる以上 80点以上 80		担当講師	実務経験	有						
別達目標		目的及び概要	使用化粧品の知識	戦を深めます。お客	様に安心して効果	的な技術を提供す	るために、カウンセ			
数料書		到達目標	【エステティック実	技理論】エステティ	ック実技を行う上で	の基礎知識の習得客することができる	計 っようになる			
日数		授業運営方法								
回数		教科書	エステ	ティック概論・エスラ	ティックカウンセリ	ング・フェイシャル	実技理論・ボディ実	技理論 ———————		
# 第1回 1 後習 後期の流れ確認・前期の復習・化粧品&機器について 第2回 2 ブラシの効果 ブラシ洗験準備物・手順・注意事項・禁忌事項 第3回 3 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 様の・手順・注意事項・禁忌事項・禁忌事項 第2回 第5回 5 ブマージュ・バック ブマージュ準備物・手順・注意事項・禁忌事項・効果・野菜マスク 第5回 6 ブマージュ・バック ブマージュ準備物・バックについて、コンサル・石膏パック) マッサージについて・コンサルシートの記入方法 (見本を照らし合わせながら確認) カンサル作成~完成 第9回 9 第10回 10 口頭試問についての説明・本番ペアの口頭試問カンペ作成 第11回 11 センター対策 センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問) カンペ作成 第11回 12 センター対術力確認試験対策(シート記入・口頭試問) カンペ作成売 第13回 13 理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明 第14回 14 期末試験 期末試験 期末試験 第15回 15 答案返却 答案返却 万イードバック 初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 定期試験 実施しない(提出物) 東接評価方法 定期試験や小テスト・授業参加區欲 実施しない(提出物) 東接評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 実施しない(提出物) 東接評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 単平常点 自数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 億元以上 60点以上 6		1			後	期				
第2回 2 ブラシの効果 ブラシ洗顔準備物・手順・注意事項・禁忌事項 第3回 3 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入準備物・手順・注意事項・禁忌事項・禁忌事項 第4回 4 バター・野菜マスク バター準備物・手順・注意事項・禁忌事項・効果・野菜マスク 第5回 5 ゴマージュ・バック ゴマージュ・ボーク ブーク・エーク エーク・ロボーク ロ頭試問についての記明・本番ペアの口頭試問カンペ作成 第1回 10 センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)カンペ作成 センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)カンペ作成売 第1回 13	回数	コマ数	·							
第3回 3 酵素・イオン導入 酵素・イオン導入準備物・手順・注意事項・禁忌事項 第4回 4 パター・野菜マスク パター準備物・手順・注意事項・禁忌事項・効果・野菜マスク 第5回 5 ゴマージュ・パック ゴマージュ準備物・パックについて(ミネラル・石膏パック) 第6回 6	第1回	1	復	·習 ————————————————————————————————————						
第4回 4	第2回	2	ブラシ	の効果 	ブラシ洗顔準備物・手順・注意事項・禁忌事項					
#5回 5 ゴマージュ・パック ゴマージュ準備物・パックについて(ミネラル・石膏パック) 第6回 6	第3回	第3回 3 酵素・イオン								
第6回 6	第4回 4 パター・野菜			予菜マスク	パター準備	物・手順・注意事項	₹·禁忌事項·効果·	野菜マスク		
第7回 7	第5回	5	ゴマージ	ユ・パック	ゴマージュ	ュ準備物・パックにつ	ついて(ミネラル・石	膏パック)		
第7回	第6回	6			マッナ			方法		
第8回 8 できるようになる	第7回	7				(見本を照らし合	わせながら確認) 			
第9回 9 10 10 10 11 11 11 1	第8回	8			გ					
# 第11回 11 センター対策 センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問) センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問) センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問) カンペ作成完了 理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明 第14回 14 期末試験 期末試験 期末試験 第15回 15 答案返却 答案返却 フィードバック	第9回	9			ap y per page - Julia					
### 第12回 12 センター対策 センター技術力確認試験対策(シート記入・ロ頭試問)カンペ作成完了 理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明 第14回 14 期末試験 期末試験 期末試験 第15回 15 答案返却 答案返却 フィードバック 初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 ・出席率 ・定期試験や小テスト ・浸業参加意欲 ・定期試験 ・でましない(提出物) ・浸業参加意欲 ・変化ない(提出物) ・浸素参加意欲 ・変化ない(提出物) ・浸素参加意欲 ・変化ない(提出物) ・浸素参加意欲 ・変形は、	第10回	10			ロ頭試問についての説明・本番ペアのロ頭試問カンペ作成					
# 12 センター技術力確認試験対策(シート記入・口頭試問)カンペ作成完了 理論の期末試験出題範囲・本番のスケジュール説明 第14回 14 期末試験 期末試験 期末試験 第15回 15 答案返却 答案返却 フィードバック 答案返却 フィードバック 初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 ・出席率 定期試験・定期試験や小テスト・授業参加意欲 実施しない(提出物) 成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上 80点以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 10点以上 60点以上 10点以上 60点以上 10点以上 60点以上	第11回	11	わ いね。	一 対策						
第14回 14 期末試験 期末試験 第15回 15 答案返却 答案返却 フィードバック 答案返却 フィードバック 初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 ・出席率 ・定期試験やハテスト ・授業参加意欲 定期試験 実施しない(提出物) 実施しない(提出物) 東施しない(提出物) 東流の数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 自0点以上 をの点以上 をのえる をしたいる をしたいる とのえる とのえる とのえる とのえる とのえる とのえる とのえる とのえ	第12回	12	ر کری	^1 / €	センター技術力は	確認試験対策(シー	-卜記入・口頭試問)	カンペ作成完了		
第15回 15 答案返却 答案返却 フィードバック 初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 ・出席率 ・ 定期試験 ・ 定期試験 実施しない(提出物) 実施しない(提出物) 水積評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 き通以上 60点以上 ・ を で の の の の の の の の の の の の の の の の の の	第13回	13			理論の	期末試験出題範囲	本番のスケジュー	ル 説明		
初回持ち物 筆記用具、実技ファイル、フェイシャル実技理論の教科書 成績評価方法 ・出席率 ○ 筆記試験 実技試験 ・定期試験や小テスト・授業参加意欲 実施しない(提出物) 成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 やや劣る以上 やや劣る以上	第14回	14	期末	試験		期末	試験			
成績評価方法 ・出席率 ・定期試験 ・定期試験 実技試験 ・授業参加意欲 実施しない(提出物) 成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 やや劣る以上 やや劣る以上 40点以上	第15回	15	答案	返却		答案返却	フィードバック			
成績評価方法 ・定期試験や小テスト ・授業参加意欲 定期試験 実技試験 実施しない(提出物) 成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 やや劣る以上 やや劣る以上 40点以上		初回持ち物		筆記用具	、実技ファイル、フェ	ェイシャル実技理論				
			•出席率	-		0				
成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験 平常点 点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 やや劣る以上 やや劣る以上 やや劣る以上		成績評価方法		٢	定期試験					
点数300~250点 A評価 90%以上 優れている以上 80点以上 優れている以上 80点以上 点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 でおりまままままままままままままままままままままままままままままままままままま				ulu për sës	£5.44n	≡÷ #◆				
点数249~200点 B評価 85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以上 60点以上 60点以上 点数199~150点 C評価 80%以上 やや劣る以上 ^{59点以下} マヤ劣る以上 40点以上										
がある。 100m 00m以上 につかる以上 ~平均点半分以下 につかる以上 40m以上										
		点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
		点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下∙課題補講未叧	: 完了·平常点授業妨害 	₹39点以下の場合		

	ンフハA(授耒内谷)										
	科目名	ٿ ء-	ーティビジネス実務	検定	クラス名	Q.	1E				
	1年単位	前期	15 時間	後期	-	1年合計単位	15 時間				
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-				
				平手 奈々							
	担当講師	実務経験	有			客様のニーズに合な う幅広く指導をする					
	目的及び概要	働くうえでの美容		る。高い知識とカウン		ネーターの基礎知 R様に適した美容施					
	到達目標				ビューティビジネス実務検定合格 検定試験日:6月12日(月)						
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式)					
	教科書		۲	ューティビジネス実	実務検定公式テキ ス	<i>۲</i> ١					
	<授業計画>			前	期						
回数	コマ数	テー	ーマ		授業内	容詳細					
第1回	1	・ビューティコーデ	ィネーターの仕事		ビューティコーディ	ネーターの仕事とは	,				
第2回	2		イイ・ブーの正子		美容業界における	るビジネスキャリア					
第3回	3	40	- L SS.	サロンにおけるビジネスキャリア/ホスピタリティ							
第4回	4	サロンコミュ	ニケーション	サロンでの社内コミュニケーション							
第5回	5	技宏の甘 ★	と言葉遣い		接客の基本	と言葉遣い					
第6回	6	接合の基本	(C日来追い	+	ナロンにおける電話	応対・メールの基本	<u></u>				
第7回	7				パソコンの)基本活用					
第8回	8	#5.7-+1	+ 7 仕事由宗	ビュー	ティ・コーディネータ	ターの1日と就業中	マナー				
第9回	9	グロンにあり	する仕事内容		サロンオペ	レーション①					
第10回	10			サロンオペレーション②							
第11回	11	学	·礎知識	ファッションの理解と美容意識のコーディネート							
第12回	12	大谷 基	"使刀" 似	美容基礎知識							
第13回	13	ŭ_ = ,¬ =	ィネート・模擬試験	トータルビューティメニュー							
第14回	14	L	1 小一下 1天1灰武炭		期末テスト	(模擬試験)					
第15回	15	検定	:試験	6/1	2(月) ビューティビ:	ジネス実務検定試験	漁日				
	初回持ち物	テキスト/筆記用具/	´A4ファイル								
		•出席率			0	筆記					
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	.	定期試験		実技実施しない					
	成績評価 基準(右記)		出席率	中期	 試験	夫施しない 平常					
	点数300~250点 	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上				
	点数249~200点 ———————————————————————————————————	B評価 L	85%以上 普通以上 60点以上 普通以上 60点以								
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上				
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半约	分以下·課題補講未	完了•平常点授業妨害	售39点以下の場合				

	ンフハス(技耒内谷)									
	科目名		薬膳入門	クラス名 Q1E						
	1年単位	前期	15 時間	後期	1	1年合計単位	15 時間			
	2年単位	前期	ı	後期	-	2年合計単位	-			
				小林	優子					
	担当講師	実務経験	有	セルフケア上手に 教室での経験をも す。		密着した薬膳を得意 と生活からできる薬				
目	的及び概要	カラダとココロの美ノ キレイになり、元気(薬膳の専門用語を	し、インナービューテ こなり、自分に自身を 亟力使わずに、わかり	こ、元気になれるもの ィーへの近道です。 持つことが、周りのノ りやすく薬膳の概要を 活の工夫の知識が!	人をキレイにすること E学びます。毎日の当	につながります。その	つための薬膳です。			
	到達目標	自分の体調や体質を	を知る事、そしてそれ	に合わせた食事や生	生活の工夫ができる:	力を身につけることを	目標とします。			
授 	·業運営方法			演習形式・「講義形式」						
	教科書 			プリント						
	授業計画>	_		阿	期	nin =¥ 4m				
回数	コマ数	·	-マ	*****************************	授業内					
第1回	1	薬膳概論①		薬膳を学ぶ意味、薬膳とは何かを学びます。						
第2回	2	薬膳概論②		薬膳で考えるカラダとココロの分析方法①気血水						
第3回	3	薬膳概論③		薬膳で考えるカラダ	ダとココロの分析方 	法①気血水 				
第4回	第4回 4 薬膳概論④				薬膳で考えるカラダとココロの分析方法③五臓					
第5回	5	薬膳概論⑤		薬膳で考えるカラク	ダとココロの分析方	法③五臓				
第6回	6	薬膳概論⑥			、陰陽、五臓から	法④舌で体質をみ 自分の体質を見て、 - 。				
第7回	7	体質別薬膳①		原因である体質を (肩こりについて)	知り、体質に合わり	せた食材や生活養	生法を学びます			
第8回	8	体質別薬膳②		(むくみについて)		せた食材や生活養				
第9回	9	体質別薬膳③		原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます (便秘について) 原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます						
第10回	10	体質別薬膳④		原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます (目の疲れについて) 原因である体質を知り、体質に合わせた食材や生活養生法を学びます						
第11回	11	体質別薬膳⑤		(やる気アップについて)						
第12回	12	プレゼンテーション	v (1)	・今までの食事や生活の振り返りを行い、自分の体調や体質に合わせた 一食事や生活を考え、それに対して取り組んだ事、改善したことをプレゼン						
第13回	13	プレゼンテーション	√②・試験対策	します。試験対策を						
第14回	14	最終試験		最終試験を行いま	:す					
第15回	15	最終振り返り		試験の振り返り他	0					
褚	初回持ち物	特になし								
		•出席率			0	筆記				
成	成績評価方法・定期試験や小テスト			定期試験		実技				
			出席率	⇔	計除	実施しない				
					試験	平常				
	点数300~250点 A評価 90%以上			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上			
	数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上			
点数199~150点 C評価 80%以上				上 やや劣る以上 59点以下 やや劣る以上 40点以上 40点以上						
	数149点以下	D評価								

	ング・バベ及ネド1 日/										
	科目名	エステティック実技 クラス名 Q1E									
	1年単位	前期	60 時間	後期	60 時間	1年合計単位	120 時間				
	2年単位	前期	45 時間	後期	-	2年合計単位	45 時間				
			菊谷	谷 未歩·有村 直美·深山美咲·鮎川 静菜							
	担当講師	実務経験	有		経験からサロンで <i>0</i> ボディ実技を習得す)ニーズに即した対 ⁻ る。	応力、				
	目的及び概要	エステティシャンの技術技術の他に、接客者と	fを中心に接客やマナ <mark>-</mark> して必要な挨拶やご案		ら学びます。	コン業務全般を学んでい 或をします。	きます。				
	到達目標	接客やマナーが身が、拭き取り)などが期目標の"言わ	サロンで行う施術は	内容ができるように	なります。	脚表面)やフェイシャ	ァル(クレンジン				
	授業運営方法			演習形式	• 講義形式						
	教科書			な	:L						
	<授業計画>			前	期						
回数	コマ数	テー	-マ	授業内容詳細							
第1回	1-4	準	備 —————	事前準	■備、ご挨拶、ご案P	内、片付け、清掃にゲ	ついて				
第2回	5-8	脚背面マ	゚゚ッサージ	脚背面マッサージデモスト→練習							
第3回	9-12		脚背面マッサージ練習								
第4回	第4回 13-16 脚表面マッサージ				脚表面マッサージ	ジデモスト→練習					
第5回	17-20	I I I I I I I I I I I I I I I I I I I			脚表面マッ	サージ練習					
第6回	21-24	脚背面マッサー	-ジ(オプション)		脚両面練	習+かっさ					
第7回	25-28	練	習		脚背面·表i	面技術練習					
第8回	29-32	注	験		脚背面期	明末試験					
第9回	33-36	フェイ	シャル	クレンジング・拭き取りデモ⇒練習							
第10回	37-40			相モデルにてクレンジング練習							
第11回	41-44	フェイシ	ル練習 クレンジング+ハンド洗顔								
第12回	45-48				クレンジング+エレ	クトロクレンジング					
第13回	49-52	期末	対策	期末試験対策(クレンジング〜拭き取り)							
第14回	53-56	期末	試験		クレンジンク	で拭き取り					
第15回	57-60	お楽し	み授業		ボディのお	楽しみ練習					
	初回持ち物	ロビニール袋(何でもす	可) ロファイル(配布ブ	リントをまとめられるもの	の) ロタオルハンカチス	コーブ ロシーツ ロタオ 又はハンドタオル 授業に参加して下さい。					
		•出席率				筆記					
	成績評価方法	٢	定期試験	0	実技記 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――						
	・授業参加意欲 			宁钿	 試験	実施しない 平常					
;	成績評価 基準(右記合計点) 出 点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上				
J.	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上				
	上*h100 - 150 上	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下	やや劣る以上	40点以上				
	点数199~150点	O計Ⅲ 	00%&1	- (-) - () - () - () - () - () - () - 	~平均点半分以下	(C) () () () () () () () () (XXX				

14 24 担: 目的. 到: 授業:	科目名 年単位 2年単位 3当講師 内及び概要 別達目標 美運営方法 教科書 受業計画 > コマ数 1-4	前期前期	ェイシャルコースの	後期 後期 エステ担 エステサロンでのれ を伝え、フェイシャ。 プクレンジング、フェー)選択が出来るよう	経験からサロンでのル技術を習得する。	サージ、パック、につ	120 時間 45 時間 応力、マナー等		
担 目的. 到 授業 回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	2年単位 2当講師 う及び概要 り達目標 変運営方法 教科書 受業計画 >	前期 実務経験 センター試験合格 状態に合わせてフ	45 時間 有 に向けて、ディーフェイシャルコース <i>の</i>	後期 エステ担 エステサロンでのま を伝え、フェイシャ プクレンジング、フェー)選択が出来るよう	- 3当講師 経験からサロンでの ル技術を習得する。 イシャル機器、マッ	2年合計単位)ニーズ(こ即した対)	45 時間		
担: 目的. 到: 授業: 多 (一) 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	型当講師 対及び概要 列達目標 美運営方法 教科書 受業計画> コマ数	実務経験 センター試験合格 状態に合わせてフ	有 に向けて、ディーフ ェイシャルコースの	エステ担 エステサロンでの約を伝え、フェイシャが を伝え、フェイシャが プクレンジング、フェー)選択が出来るよう	当講師 経験からサロンでの ル技術を習得する。)ニーズに即した対 。 サージ、パック、につ	応力、マナー等		
目的. 到: 授業: 回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	内及び概要 別達目標 変運営方法 教科書 段業計画 >	センター試験合格 状態に合わせてフ	に向けて、ディーフェイシャルコースの	エステサロンでのれ を伝え、フェイシャ クレンジング、フェーク 選択が出来るよう	経験からサロンでのル技術を習得する。	サージ、パック、につ			
目的. 到: 授業: 回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	内及び概要 別達目標 変運営方法 教科書 段業計画 >	センター試験合格 状態に合わせてフ	に向けて、ディーフェイシャルコースの	を伝え、フェイシャ プクレンジング、フェー)選択が出来るよう	ル技術を習得する。	サージ、パック、につ			
到: 授業: の数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	川達目標 美運営方法 教科書 受業計画> コマ数	状態に合わせてフ ディープクレンジン	ェイシャルコースの)選択が出来るよう			ンいてを学び、肌		
授業 回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	美運営方法 教科書 受業計画> コマ数		グ、フェイシャル機	と器、マッサージ、パ					
************************************	教科書 受業計画> コマ数				ックの知識や技術	を習得し、センター	試験の合格を目		
< 授: 回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	受業計画>		演習形式 ・ 講義形式						
回数 第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回	コマ数								
第1回 第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回				後					
第2回 第3回 第4回 第5回 第6回 第7回	1-4	テー	-マ	授業内容詳細					
第3回 第4回 第5回 第6回 第7回		マッサー	-ジデモ 	マッ	ッサージデモ・ウィッグ練習・相モデル練習				
第4回 第5回 第6回 第7回	5-8	マッサージ	手付き練習	マッサージウィッグ手合わせ・相モデル練習					
第5回 第6回 第7回	第3回 9-12 酵素			酵素(デモ)・マッサージ練習					
第6回	第4回 13-16 スクラブ				スクラブ(デモ)・	マッサージ練習			
第7回	17-20	マッサー	-ジ強化	クレン	<i>、</i> ジング・マッサーシ	ジチェック・フィ ー ドバ	ック		
	21-24	コンサル・	パック練習		コンサル・マッサ	ージ・パック練習			
第8回	25-28	選択したデ	ィープ練習	クレン	ジング・ディープ(選	【択したもの)・マッサ	 ·ージ		
	29-32	口頭試問	練習開始	コンサル・ラ	ディープ・マッサーシ	ジ・パック(口頭試問	————— 東習開始)		
第9回	33-36	流れ	————— 練習	クレンジング・コンサル・ディープ・マッサージ					
第10回	37-40	44	++ <u>+</u>	·潘 / 结型					
第11回	41-44	快走	定対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・						
第12回	45-48	#□ → =→ ₽	24## o 4		期末&模擬1日	目・フィードバック			
第13回	49-52	· 期末試馴	₹≪悮擬		期末&模擬2日	∃・フィードバック			
第14回	53-56	検定	対策		検定				
第15回	57-60	本	番		センター	試験本番			
· 初回	回持ち物	すっぴん、実技ファ 筆記用具、メモ帳、	マイル、ローブ、シー ハンカチ、ビニー	ーツ、フェイスタオル ル袋(小)、 フェイス	6枚(そのうちHOT スシールド・※初回	1枚)、ウィッグ 当番: 			
		•出席率				筆記記			
成績	責評価方法	・定期試験や小テス・超業券加音物	٢	定期試験	0	実技記			
<u>⊏1: 43</u>	・授業参加意欲 			定期	計除	美施しない 平常			
	点数300~250点 A評価			優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
点数24	249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
点数19		C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
点数1	199~150点	D評価	期末試験未受験・						

	科目名		ネイルケア	クラス名 Q1E								
	1年単位	前期	45 時間	後期	60 時間	1年合計単位	105 時間					
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-					
			有倉	有倉 麻衣子·鯨井朋子·平光 真理·斎藤鮎美								
	担当講師	実務経験	有		所経験ともに豊富な おかし、ネイルの基礎	:実務経験を持って 楚を伝えていく。	いるJNA認定講					
	目的及び概要	JNECネイリスト技	能検定3級・JNAジ	識が必要です。ネイル製品の販売にはネイルの専門知識が要求されます。その為、 食定3級・JNAジェル検定初級の知識を勉強していきます。 で活躍できるよう、爪と指先の知識をしっかり勉強して参りましょう。								
	到達目標	ネイルケアの基礎 JNECネイリスト技		の流れを理解する。								
	授業運営方法			演習形式 - 講義形式								
	教科書			JNAテクニカルシステム ベーシック								
	<授業計画>			前期								
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細						
第1回	1-3	オリエン	テーション	ネイルケアに必要な用具・材料の特徴を知る・デモストレーション								
第2回	4-6	ネイル理	論·実技	テーブルセッティング・ネイル理論の基礎・ファイリング								
第3回	7-9	ネイル理	論·実技	爪の構造・基本アート(5枚花)								
第4回	10-12	ネイル理	論·実技	ファイリン	グ(ラウンドのスタ	イリング)カラーリン	グ・アート					
第5回	13-15	ネイル理	!論∙実技		爪と皮膚の構造	告・カラーリング						
第6回	16-18	ネイル理	!論∙実技	ネイル	の歴史・ネイルケア	'技術理論・クリーン	アップ					
第7回	19-21	実	技		ポリッシュオフ~カ	 ラーリング・アート						
第8回	22-24	実	技	:	ネイル化粧品につい	ハて・クリーンアップ	,					
第9回	25-27	実	技		テーブルセッティン	vゲ~カラーリング						
第10回	28-30	実	技	爪の病気とトラブル・総合トレーニング								
第11回	31-33	実	技	総合トレーニング								
第12回	34-36	期末	試験	筆記試験・実技試験 説明								
第13回	37-39	期末	試験	総合トレーニング								
第14回	40-42	期末	試験		指定	範囲						
第15回	43-45	ネイル	アート		ポ花・レースなどサ	ロンスタイルアート						
	初回持ち物					/リ・A4ノート・セロラ 字の無い物)・キッチ	ンペーパー1					
		•出席率				筆記						
	成績評価方法・定期試験や小テスト			定期試験	0	実技						
	·授業参加意欲 				計除	実施しない						
成績評価 基準(右記合計点) 出席率 点数300~250点 A評価 90%以上				優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上					
	点数249~200点 B評価 85%以上				60点以上	普通以上	60点以上					
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上					
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	 定期試験平均点半分	→以下・課題補講未写	完了•平常点授業妨害						

:	科目名 1年単位 2年単位 担当講師	前期	ネイルケア 45 時間 -	後期	クラス名 60 時間	Q1 1年合計単位	E 105 時間	
:	2年単位	前期			60 時間	1年合計単位	105 時間	
:			-	後 期				
	担当講師			後期 - 2年合計単位 -				
	担当講師			ネイル担	当講師	•		
目		実務経験	有	ネイリストとしての! 実例を交えながら!		ナロンワークで習得	した知識、技術を	
	的及び概要	ネイルケアの基礎 JNECネイリスト技 ポリッシュカラーの	能検定3級実技の	流れを理解する なアートに挑戦する	3			
***	到達目標	ネイルケアの基礎 ト技能検定試験3編		Cネイリスト技能検気	定3級実技の流れを	∃理解する。1/23(E	l)JNECネイリス	
授	業運営方法			演習形式・	講義形式			
	教科書		JNAテクニカルシステム ベーシック					
<	授業計画>			後	期			
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細		
第1回	1-4	初回	授業	3級D	VD、教材配布、要	項確認、テーブルも	ヹ ット	
第2回	5-8	ア-			アートの)描き方		
第3回	9-12	ネイル	レケア	;	指の持ち方、ファイ	'リング、プッシャー		
第4回	13-16	ネイル	レケア	プッシャー・ニッパー・ガーゼクリーンナップ				
第5回	17-20	カラ	5 —	カラー・オフ				
第6回	21-24	タ1	(70分3級検定				
第7回	25-28	タ1	タイム			級検定		
第8回	29-32	タ1	タイム			級検定		
第9回	33-36	タ1	1		70分3約	級検定	处検定 	
第10回	37-40	模擬 ·	テスト		総合トレ・	ーニング		
第11回	41-44	模擬 ·	テスト		総合トレ・	ーニング		
第12回	45-48	仕追	<u>\</u> み		JNECネイリスト技能	能検定3級 仕込み		
第13回	49-52	カラー	リング		デザイ	ン制作		
第14回	53-56	カラー	リング		デザイ	ン制作		
第15回	57-60	期末	試験		筆記試験、	チップ提出		
老	辺回持ち物	教科書・油性ペン(糸		5枚(3枚は無地のタス)・キッチンペーパー・				
		•出席率				筆記		
成	績評価方法	・定期試験や小テス	٢	定期試験	0	実技		
	+ / + / +	·授業参加意欲	List offer of	実施しない(提出物)				
	朮積評価 基準(右記 で ***200~:250点		出席率					
	数300~250点 ————————————————————————————————————	A評価 B評価	90%以上 85%以上	優れている以上	80点以上 60点以上	優れている以上 普通以上	80点以上 	
	数199~150点 ————————————————————————————————————	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上 ————	
点 	数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	}以下·課題補講未完 ———————	完了•平常点授業妨害	39点以下の場合	

	—————————————————————————————————————	メイ	メイク&ヘアアレンジメント クラス名 Q1E						
	 1年単位	前期	45 時間	7,7,74					
		前期	60 時間		45 時間	2年合計単位	105 時間		
			1	浅岡	久美				
	担当講師	実務経験	有		'ーティストの立場カ アアレンジとメイクフ				
	目的及び概要	メイクアップでは、 方法などを学びま	ベースメイクからフ す。		習を通して学びます アアレンジでは編 <i>ā</i> 標としています。		−簡単なアレンジ		
	到達目標	相モデルで実践し	人に施術ができる	ようになることが目	標				
	授業運営方法			演習形式	• 講義形式				
	教科書			な	il				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	·	-マ	道目の種類も使い	授業内 ハ方(メイクブラシの		毛入れ方 注)		
第1回	1-3		哉、ベースメイク1 	セッティング、コン	トロールカラー、色 レカラー、ファンデー	合わせ			
第2回	4-6	ベース	メイク2	つけ方		ノコノい空ック、ノ	エースハファーの		
第3回	7-9	ベース	メイク3	復習、コンシーラー	-でのカバーの仕方 	<u>ī</u>			
第4回	10-12	アイメ	イク1 	眉の描き方、アイ	シャドーのつけ方				
第5回	13-15	アイメ	イク2	復習、アイラインの引き方、ビューラーのかけ方、マスカラのつ					
第6回	16-18	ベースメイク4、	74、立体感、リップ ベースメイク(ブラシ)、チーク、ハイライト、ローライトの入れ方、リッ						
第7回	19-21	^:	ヘア1 編み込み、ピン打ち、編み込みアレンジ						
第8回	22-24	^:	72	コテの使い方					
第9回	25-27	顔型	修整	顔型によるチーク 復習	、ハイライト、ローラ	イトの入れ方の違い	い、ボイントメイク		
第10回	28-30	フル.	メイク	メイク復習					
第11回	31-33	就活へ	アメイク	就活に向けての好	子感度UPへアメイク				
第12回	34-36	^-	73	相モデルでヘアア	レンジ				
第13回	37-39	イメージ	ジメイク	相モデルのイメー	ジに合わせたメイク	、メイク画作成(最	終日に使用)		
第14回	40-42	期末テスト、イ	ヘアアレンジ4	期末テスト(筆記)	、アップスタイルアし	ノンジ			
第15回	43-45	テーマ	別メイク	前回考えたプラン	をもとに実際にメイ	クをしてみる			
	初回持ち物			' プ(←授業前に配す 3前をかきます)、シ	布された場合)、ティ √ラバス	ツシュ(箱又は同党	たのもの)、名前		
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲							
成績評価 基準(右記合計点) 出席率 定期試験					試験	実施しない 			
,	点数300~250点						80点以上		
,	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
J	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下•課題補講未完	完了·平常点授業妨害 	통39点以下の場合		

		ラブ・バベ及来下1日 7							
	科目名	У-1	′ク&ヘアアレンジメ	メント クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	45 時間						
	2年単位	前期	60 時間	後期	45 時間	2年合計単位	105 時間		
				浅岡 ·	久美				
	担当講師	実務経験	有			ヽら、撮影やメイクア アップの基本を伝え			
	目的及び概要	メイクアップでは、 方法などを学びま	ベースメイクからフ す。			- み込みを取り入れた	-簡単なアレンジ		
	到達目標	相モデルで実践し	人に施術ができる	ようになることが目	標				
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書			t	:L				
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テ-	- マ		授業内	容詳細			
第1回	1-4	ヘア	復習	ダウン	スタイル、ハーフア	ップなどアレンジス	タイル		
第2回	5-8	メイク	' 復習		ポイントメー	イクの復習			
第3回	9-12	検定	対策1		クレン	ジング			
第4回	13-16	検定	対策2		スキン	ノケア			
第5回	17-20	検定	対策3	ベースメイク					
第6回	21-24	検定	対策4	トータル練習					
第7回	25-28	検定	対策5	トータル練習					
第8回	29-32	検定	対策6		トータ	ル練習			
第9回	33-36	検定!	日(仮)		JMA3級核	定日(仮)			
第10回	37-40	ブライダ	ルメイク1		和装(洋髪)の	基本的なメイク			
第11回	41-44	ヘアの基	基礎知識		毛髪知識、コーム	やブラシの使い方			
第12回	45-48	ブライダ	ルメイク2		洋装の基本	い的なメイク			
第13回	49-52	ブライタ	ブルヘア		洋装の基本的	なヘアアレンジ			
第14回	53-56	ブランド	別メイク		メイクブラン	ドの春メイク			
第15回	57-60	ブライダルイメ	ージヘアメイク	+	ュート、フレッシュ、	エレガント、クラシッ	ク		
	初回持ち物	白タオル、ブラシセ シール、サインペン	マット、スポンジ、パ ン(タオル、パフに名	フ(←授業前に配る ろ前をかきます)、シ	ーーー 行された場合)、ティ ノラバス	ツシュ(箱又は同党	でのもの)、名前		
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス	F	定期試験実技試験					
	式建弧压 **/+=¬	·授業参加意欲 	山曲赤	亡 #5	計除	実施しない			
,	成績評価 基準(右記 点数300~250点	合計点) A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	要れている以上	80点以上		
	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
ļ	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下·課題補講未完	完了•平常点授業妨害	 		

			ノノハヘ	(投耒內谷)					
	科目名		ブライダル概論	クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	15 時間	間 後期 15 時間 1年合計単位 30					
	2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間		
				矢澤	雅子				
	担当講師	実務経験	有	着させる。その後大手	ドレスショップにて統括 エディングのコンサルー	少なかったンポートドレ ディレクターやバイヤー ティング、ドレスショップ(を務める。現在はブラ		
	目的及び概要	色々な結婚式のスタイ 欧米の結婚式の違い	ルや、衣裳の歴史やラ やブライダル業界の仕	セレモニーである「結婚」 「ザインの種類、小物の 組みと成り立ちなども学 く仕事の面白さを感じて	意味などをエピソードを び、ブライダルにかかオ	交え学んでいきます。	また、日本の結婚式と		
	到達目標	ブライダル業界にまつ			する。				
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			な	il				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	-マ	. FALIE 1.1	授業内	容詳細			
第1回	1	結婚とは・	学式の種類	* 「結婚」とは * 挙式スタイル(キ!	Jスト教式・人前式・ ネ	申前式・仏前式など)			
第2回	2	様々な結婚	式のスタイル	* パーティスタイル((ホテル・ゲストハウス	ス・専門式場・レストラ	シ・リゾートなど)		
第3回	3	恋愛·婚活	•結婚意識	* 恋愛・婚活・結婚	調査				
第4回	4	結婚スタイ	(ルトレンド	* 結婚式のトレンド(挙式スタイ)	レ・パーティスタイル・衣裳・演出・	毎外ウエディングなど) * 進化する	。フォトウエディングについて		
第5回	5	日本と世界のウェ	Lディングスタイル						
第6回	6	結婚式を	を創るまで	* 結婚式を迎えるまでの流れについて * ウエディングブランナーや結婚式に纏わる仕事					
第7回	7	ウエディングプラ	ンニングワーク-1	ブワーク-1 *結婚式のコーディネイトをテーマに基づいて実際作成してみる					
第8回	8	ウエディングプラ	ンニングワーク-2	* 結婚式のコーディ	ネイトをテーマに基づ	づいて実際作成して∂	4 3		
第9回	9	日本と欧米の衣	裳文化・トレンド	* 欧米と日本のドレ * 衣裳のトレンドに	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				
第10回	10	ウエディングト	・レスについて		:)・和装(歴史や意味 ・ザイン・素材の基礎				
第11回	11	新郎新婦のスタ	イリングについて		eめや準備の流れに やブライダルビュー ?				
第12回	12	スタイリン・	グワーク-1	* 結婚式のテーマヤ	ウシチュエーションに	合わせたスタイリンク	「ワーク		
第13回	13	スタイリン・	グワーク-2	* 結婚式のテーマヤ	ウシチュエーションに	合わせたスタイリンク	「ワーク		
第14回	14	トータルスタイ	リングワーク-1	* 挙式・パーティスタ	イル・お客様の雰囲	気に合わせたトータル	スタイリングワーク		
第15回	15	トータルスタイ	リングワーク-2	* 挙式・パーティスタ	イル・お客様の雰囲	気に合わせたトータル	スタイリングワーク		
	初回持ち物	筆記用具(ワークの	際はハサミとのりもキ	寺参)					
		-出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	<u> </u>	実技試験					
	成績評価 基準(右記)		出席率	実施しない(提出物)					
	点数300~250点 	A評価 	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点 ———————————————————————————————————	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分		完了•平常点授業妨害	雪39点以下の場合		

	ンフハス(投耒内谷)								
	科目名		ブライダル概論	か クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	15 時間	間 後期 15 時間 1年合計単位 30					
	2年単位	前期	15 時間	後期	15 時間	2年合計単位	30 時間		
				矢澤	雅子				
	担当講師	実務経験	有	着させる。その後大手	『し、日本国内にイまだ』 ドレスショップにて統括 『エディングのコンサルー 。	ディレクターやバイヤー	を務める。現在はブラ		
	目的及び概要	色々な結婚式のスタイ 欧米の結婚式の違い	、ルや、衣裳の歴史やデ やブライダル業界の仕	・ セレモニーである「結婚? デザインの種類、小物の 組みと成り立ちなども学 く仕事の面白さを感じて	意味などをエピソードを び、ブライダルにかかオ	交え学んでいきます。	また、日本の結婚式と		
	到達目標	ブライダル業界にまつ	んな結婚式のスタイルが わる仕事はどんな職種 の種類を把握し、スター		する。				
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			な	:L				
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー	- ₹		授業内	容詳細			
第1回	1	ブライダ ルの	業界について		ブライダルのお	仕事と業界理解			
第2回	2	7 7 1 7 70 03	**************************************		ブライダルのお	仕事と業界理解			
第3回	3				ドレススタイリス	ストの実践理解			
第4回	4	スタイリスト	の仕事とは		ドレススタイリス	ストの実践理解			
第5回	5			ドレススタイリストの実践理解					
第6回	6		ウエディングプランナーのお仕事の理解						
第7回	7	1) ± 1 1 2 9 9 9.	ファーの仕事とは	ウエディングプランナーのお仕事の理解					
第8回	8	日本の結婚式	の歴史と文化		日本のブライダ	ルの歴史の検証			
第9回	9	ブライダル:	業界研究①	ブライダル業	界の魅力・将来性/	欧米のブライダルの	の歴史の検証		
第10回	10	ブライダル:	業界研究②	ブライダル	業界で働くというこ	と/ブライダルビジ	ネスの現状		
第11回	11	ブライダル:	業界研究③	ブライダルビジネス(の現状/結婚式場の現	見状/クレドとは何か/関	関連する企業の種類		
第12回	12	ブライダル:	業界研究④	挙式の流れと意	意味を理解する/ク	レーム・コンプレイン	ノの種類と対応		
第13回	13	ブライダル	業界研究⑤	披露宴の流れと意	味を理解する/企業だ	いら求められる人物値	象・就職活動の心得		
第14回	14	期末	テスト		授業筆	范囲内			
第15回	15	期末テ	スト返却		解説	返却			
	初回持ち物	筆記用具(ワークの	際はハサミとのりもキ	寺参)					
		•出席率			0		試験		
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	.F	定期試験実技試験					
	成績評価 基準(右記)		出席率	実施しない(提出物) 野本 定期試験 平常点					
	点数300~250点								
		A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点 	B評価	85%以上	普通以上 	60点以上	普通以上 ————————————————————————————————————	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	♪以下·課題補講未写	完了•平常点授業妨害	害39点以下の場合		

	科目名	ф :	エディングスタイリ	リスト クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	30 時間						
	2年単位	前期	30 時間	後期	30 時間	2年合計単位	60 時間		
				遠藤智緒	里·片山彩				
	担当講師	実務経験	有	し、ホテル、ゲストハウス	等の会場で、新婦のリハー	で活躍中。フリーになるまて -サルメイク、新郎新婦の当 ンドまで、多岐に渡る業務	日のお仕度からお引上		
	目的及び概要			D心構えから、自身 <i>の</i> の基礎知識を習得し		る。新郎新婦の洋装・	和装のヘアメイク		
	到達目標	洋装の挙式へアメイ ムーズで美しいアテ			の違いを理解し、提乳	そ、施術ができる。また	こ、新郎新婦のス		
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			WEDDING	BEAUTY				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	- マ		授業内	容詳細			
第1回	1•2	婚礼美容の業務とは		オリエンテーション/婚					
第2回	3.4	ナチュラルメイクとヘア	アップスタイル	浴衣に似合う、相モデル 践)	ルで施術:ナチュラルメ	イクとヘアアップまたはこ	ブローテクニック(実		
第3回	5•6	ブライダル美容スタッフ	の当日業務	ブライダルの美容スタッ	ッフの当日業務の流れ				
第4回	7.8	花嫁体験		ブライダルヘアメイク、	衣装を着用し、花嫁の	動きなどを体験、体感す	გ		
第5回	9•10	新婦洋装 挙式メイクフ	メイクアップ 新婦洋装 挙式のメイクアップの特徴とテクニック(実践)						
第6回	11.12	新婦洋装 披露宴メイ	披露宴メイクアップ 新婦洋装 披露宴のメイクアップの特徴とテクニック(実践)						
第7回	13.14	新婦洋装 挙式·披露	新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセット 新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセットの特徴とテクニック(デモストレーシ						
第8回	15.16	新婦洋装 挙式·披露	宴のヘアセット	新婦洋装 挙式·披露	宴のヘアセットの特徴と	:テクニック(実践)			
第9回	17-28	ドレス着付けテクニック	,	ブライダルインナーの数	装着とドレス着付けテク	ニック(実践)			
第10回	29-20	新郎の装いテクニック		新郎のヘアメイクの特征	徴とテクニック タキシー	-ドの着付け(実践)			
第11回	21.22	新郎新婦のアテンドテ	クニック	新郎新婦のアテンドの	注意点とテクニック 挙	式終了まで(実践)			
第12回	23.24	新郎新婦のアテンドテ	クニック	新郎新婦のアテンドの	注意点とテクニック 挙	式終了からお引上げま	で(実践)		
第13回	25.26	新婦の和装のメイクア・	ップとかつら装着	新婦和装 メイクアップ	の特徴と、かつらの下	地、かつら装着テクニック	ク(映像)		
第14回	27-28	お母様(留袖)のヘアメ	イクテクニック	お母様の留袖の装いに	こ適したヘアセットと、メ	イクアップの注意点(デ	Eストレーション)		
第15回	29-30	定期試験		②WEDDING BEAUTY	′の認定試験				
	初回持ち物	テキスト②WEDDING	BEAUTY						
		・出席率			0	筆記			
	成績評価方法 ・定期試験や小テスト 定期試験 実技試験 ・授業参加意欲 実施しない(提出								
	成績評価 基準(右記	・授業参加意欲	山井本	定期	計除				
J	成績評価 基準(右記 点数300~250点	A評価	出席率 90%以上	優れている以上	80点以上	平常 優れている以上	80点以上		
,	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
J	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	#+====================================	験未受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下					

	科目名	ф :	エディングスタイリン	リスト クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	30 時間						
	2年単位	前期	30 時間	後期	30 時間	2年合計単位	60 時間		
				遠藤智緒	里·片山彩				
	担当講師	実務経験	有	し、ホテル、ゲストハウス	等の会場で、新婦のリハー	で活躍中。フリーになるまて -サルメイク、新郎新婦の当 ンドまで、多岐に渡る業務	日のお仕度からお引上		
	目的及び概要			D心構えから、自身 <i>の</i> の基礎知識を習得し		る。新郎新婦の洋装・	和装のヘアメイク		
	到達目標	洋装の挙式へアメイ ムーズで美しいアテ			の違いを理解し、提紧	客、施術ができる。また	こ、新郎新婦のス		
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			WEDDING	BEAUTY				
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー	- マ		授業内	容詳細			
第1回	1.2	婚礼美容の業務とは		オリエンテーション/婚	幹礼美容の種類と、業務	内容			
第2回	3.4	ナチュラルメイクとヘア	アップスタイル	浴衣に似合う、相モデル 践)	ルで施術:ナチュラルメ	イクとヘアアップまたはこ	ブローテクニック(実		
第3回	5.6	ブライダル美容スタッフ	の当日業務	ブライダルの美容スタッ	ッフの当日業務の流れ				
第4回	7.8	花嫁体験		ブライダルヘアメイク、	衣装を着用し、花嫁の	動きなどを体験、体感す	<u></u> გ		
第5回	9.10	新婦洋装 挙式メイクフ	アップ	新婦洋装 挙式のメイクアップの特徴とテクニック(実践)					
第6回	11.12	新婦洋装 披露宴メイ	クアップ	アップ 新婦洋装 披露宴のメイクアップの特徴とテクニック(実践)					
第7回	13•14	新婦洋装 挙式・披露	場洋装 挙式・披露宴のヘアセット 新婦洋装 挙式・披露宴のヘアセットの特徴とテクニック(デモストレーション						
第8回	15•16	新婦洋装 挙式・披露	宴のヘアセット	新婦洋装 挙式·披露	宴のヘアセットの特徴と	テクニック(実践)			
第9回	17•28	ドレス着付けテクニック	1	ブライダルインナーの着	装着とドレス着付けテク	ニック(実践)			
第10回	29-20	新郎の装いテクニック		新郎のヘアメイクの特征	徴とテクニック タキシー	-ドの着付け(実践)			
第11回	21.22	新郎新婦のアテンドテ	クニック	新郎新婦のアテンドの	注意点とテクニック 挙	式終了まで(実践)			
第12回	23-24	新郎新婦のアテンドテ	クニック	新郎新婦のアテンドの	注意点とテクニック 挙	式終了からお引上げま	で(実践)		
第13回	25•26	新婦の和装のメイクア	ップとかつら装着	新婦和装 メイクアップ	の特徴と、かつらの下	地、かつら装着テクニック	ク(映像)		
第14回	27-28	お母様(留袖)のヘアメ	イクテクニック	お母様の留袖の装いに	こ適したヘアセットと、メ	イクアップの注意点(デ=	Eストレーション)		
第15回	29-30	定期試験		②WEDDING BEAUTY	の認定試験				
	初回持ち物	テキスト②WEDDING	BEAUTY						
		・出席率			0	筆記			
	成績評価方法 ・定期試験・ウルテスト 定期試験 実技試験 ・授業参加意欲 実施しない(提出)								
成績評価 基準(右記合計点) 出席率					試験	デルフない 平常			
ļ	点数300~250点	A評価	90%以上	優れている以上	80点以上	優れている以上	80点以上		
ş	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
ļ	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価		□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □					

目 授	科目名 1年単位 2年単位 担当講師 的及び概要 到達目標 業運営方法 教科書	前期 前期 前期 実務経験 "ブライダルスタイリストや ります。自身が携わってし します。1年後期ではフィッ マィネイト提案などの実践: ウェディングドレス(ブライ 幅広いコーディネイトの提	いる事がいかに花嫁にとっ ディング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について(案をするためのスキル(§	後期 後期 を期 矢澤 欧米と日本を長年往復し の後大手ドレスショップに エディングのコンサルティ・ 仕事は、花嫁にとっての「 で必要不可欠な存在かをし プライダルスタイリストと 一ズに対応出来る汎用性。 の流れと意味をしっかり理・	、日本国内にイまだ少なかて統括ディレクターやバイング、ドレスショップの教育 したで大切な1日」の装いる 多方面から学んでもらい、 でより「表現」「提案」出来		45 時間 60 時間 を普及し定着させる。そ イダル企業やホテルウ く従事する。 いらない重要な存在にな 理解出来る人材を育成		
目 授	2年単位 担当講師 的及び概要 到達目標 業運営方法	前期 実務経験 "ブライダルスタイリストや ります。自身が携わってし します。1年後期ではフィッ ・マィネイト提案などの実践! ウェディングドレス(ブライ 幅広いコーディネイトの提	有 ブライダル衣裳に携わる。 る事がいかに花嫁にとっ ティング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について、 案をするためのスキル(3	後期 矢澤 欧米と日本を長年往復し の後大手ドレスショップに エディングのコンサルティ 仕事は、花嫁にとっての「 ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・ア・	30 時間 雅子 、日本国内にイまだ少なかて統括ディレクターやバイング、ドレスショップの教育 人生で大切な1日」の装いる多方面から学んでもらい、てより「表現」「提案」出来	2年合計単位 ったンポートドレスの文化? ヤーを務める。現在はブラ・ド・グランディングなど幅広・ を体現するためになくてはな 仕事の奥深さや重要性を到る幅を持たせるためにかり	60 時間 を普及し定着させる。そ イダル企業やホテルウ (従事する。 いない重要な存在にな と解出来る人材を育成		
目 授	担当講師 的及び概要 到達目標 業運営方法	実務経験 "ブライダルスタイリストやります。自身が携わってしします。1年後期ではフィン・マネイト提案などの実践・ウェディングドレス(ブライ幅広いコーディネイトの提	有 ブライダル衣裳に携わる。 る事がいかに花嫁にとっ ティング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について、 案をするためのスキル(3	矢澤 欧米と日本を長年往復し の後大手ドレスショップに エディングのコンサルティ 仕事は、花嫁にとっての「 て必要不可欠な存在かを ・ブライダルスタイリストとし ーズに対応出来る汎用性 の流れと意味をしっかり理	雅子 、日本国内にイまだ少なかて統括ディレクターやバイング、ドレスショップの教育 人生で大切な1日」の装いる 多方面から学んでもらい、 でより「表現」「提案」出来	ったンポートドレスの文化されてき務める。現在はブラド・グランディングなど幅広いを体現するためになくてはな任事の奥深さや重要性を野る幅を持たせるためにカウ	を普及し定着させる。そ イダル企業やホテルウ (従事する。 にない重要な存在にな 理解出来る人材を育成		
授	的及び概要 到達目標 業運営方法	"ブライダルスタイリストや ります。自身が携わってし します。1年後期ではフィッ マネイト提案などの実践: ウェディングドレス(ブライ 幅広いコーディネイトの提	ブライダル衣裳に携わる る事がいかに花嫁にとっ ディング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について 案をするためのスキル(3	欧米と日本を長年往復しの後大手ドレスショップに エディングのコンサルティ 仕事は、花嫁にとっての「って必要不可欠な存在かを ブライダルスタイリストとし 一ズに対応出来る汎用性:	、日本国内にイまだ少なかて統括ディレクターやバイング、ドレスショップの教育 人生で大切な1日」の装いる 多方面から学んでもらい、 でより「表現」「提案」出来	ヤーを務める。現在はブラ・ドウブランディングなど幅広・ ドウブランディングなど幅広・ を体現するためになくてはな 仕事の奥深さや重要性を玛 る幅を持たせるためにカウ・	イダル企業やホテルウ く従事する。 にらない重要な存在にな 理解出来る人材を育成		
目 授	的及び概要 到達目標 業運営方法	"ブライダルスタイリストや ります。自身が携わってし します。1年後期ではフィッ マネイト提案などの実践: ウェディングドレス(ブライ 幅広いコーディネイトの提	ブライダル衣裳に携わる る事がいかに花嫁にとっ ディング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について 案をするためのスキル(3	の後大手ドレスショップに エディングのコンサルティ 仕事は、花嫁にとっての「 て必要不可欠な存在かを ブライダルスタイリストとし 一ズに対応出来る汎用性:	て統括ディレクターやバイング、ドレスショップの教育 人生で大切な1日」の装いき 多方面から学んでもらい、 てより「表現」「提案」出来	ヤーを務める。現在はブラ・ドウブランディングなど幅広・ ドウブランディングなど幅広・ を体現するためになくてはな 仕事の奥深さや重要性を玛 る幅を持たせるためにカウ・	イダル企業やホテルウ く従事する。 らない重要な存在にな 理解出来る人材を育成		
授	到達目標	ります。自身が携わってし します。1年後期ではフィッ ごィネイト提案などの実践: ウェディングドレス(ブライ 幅広いコーディネイトの提	いる事がいかに花嫁にとっ ディング技術はもちろん、 を多く取り入れ、様々なニ ダル衣裳全般)について(案をするためのスキル(§	で必要不可欠な存在かを プライダルスタイリストとし 一ズに対応出来る汎用性 の流れと意味をしっかり理	多方面から学んでもらい、 ,てより「表現」「提案」出来	仕事の奥深さや重要性を理 る幅を持たせるためにカウ	解出来る人材を育成		
授	業運営方法	幅広いコーディネイトの提	案をするためのスキル(多	す。「年後期ではフィッティング技術にもちろん、ブライダルスタイリストとしてより「表現」「提案」出来る幅を持たせるためにカウンセリングから、イト提案などの実践を多く取り入れ、様々なニーズに対応出来る汎用性を持てるよう指導していきます。 ディングドレス(ブライダル衣裳全般)についての流れと意味をしっかり理解する。					
<			コーディネイトの提案をするためのスキル(実技&知識)を習得し、提案(アウトブット)するスキルを身につける。 アングドレス(ブライダル衣裳)業界の流れを理解する。						
	教科書			演習形式	講義形式				
				毎回オリジナルテ	キストを基に実施				
	授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー			授業内				
第1回	1-3	Weddingに携 基礎	知識		て花嫁とは結婚するとはを の種類やドレスのデザイン				
第2回	4-6	ドレス ドレスの扱い		ドレス試着体験を通してド	レスの扱い方や試着方法	&所作(基礎)を学ぶ			
第3回	7-9	ドレススター	イリストとは	仕事の流れや業界の構造含め、ブライダル衣裳が決まるまでの流れを学ぶ					
第4回	10-12	素材・ディティ	ールについて	ドレスで使用される素材や	っパーツを知り、そこから作	Fられるドレスの特徴を学ぶ			
第5回	13-15	ドレスコーディ	*ネイト- I - II	コーディネイトの基礎とセ コーディネイトの概念を学		こよっての			
第6回	16-18	ドレスコーテ	[*] ィネイト−Ⅲ	セレモニー×シチュエーシ	/ョン×花嫁×季節などか	らイメージするドレス提案			
第7回	19-21	接客におい 接客の流れ-カ		ドレス接客をするためのス カウンセリングにおいて大	スタイリストの心構えを学る 、切な事やのポイントを学る				
第8回	22-24	接客の流れ	-ドレス提案	ドレス提案においての大ち ドレス提案(試着ドレスを)	刃な事や 決める)にあたってのポイン	ントや心構えを学ぶ			
第9回	25-27	接客 <i>の</i> -フィッティング			7ィッティングにおいての大切な事や イッティング時のお客様とのトークや所作のポイントを学ぶ				
第10回	28-30	接客の流々	れ応用- I	カウンセリングからドレス	からドレス提案までの流れを通して学ぶ				
第11回	31-33	接客の流々	れ応用−Ⅱ	前週の流れからさらにフィ	·ッティングからクロージンク	グまで流れを通して学ぶ			
第12回	34-36	ドレスコーディ	ネイト応用- I	様々なシチュエーションを 「好きをカタチにする」	想定したドレス提案コーデ	「イネイトMAP作成			
第13回	37-39	ドレスコーディ	ネイト応用-Ⅱ	前週のコーディネイトMAF (プレゼンテーションのポィ	をプレゼンテーション イント(人に的確に伝える)	を学ぶ)			
第14回	40-42	期末 ·	テスト	授業範囲内から筆記テス	<u> </u>				
第15回	43-45	test扱	長返り	期末テストの解説と後期技	振返り				
者	初回持ち物	筆記用具(ワークの際) 白手袋	まハサミとのりも持参)						
		・出席率			0	筆記記			
成	范績評価方法	・定期試験や小テス	٢	定期試験実技試験					
	-	・授業参加意欲 実施しない(提出物							
	成績評価 基準(右記金 数300~250点	合計点) A評価					80点以上		
	数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
点数	数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
点	数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	₿以下∙課題補講未叧	・ アポ点授業妨害	39点以下の場合		

	ンフハス(投耒内谷)								
	科目名		カラーデコレート	クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	15 時間						
	2年単位	前期	_	後期	30 時間	2年合計単位	30 時間		
				岡永る	めぐみ				
	担当講師	実務経験	有	する資格を複数保存 断や希望に応じたつ	色彩心理を使ったカ 『し、ブライダルの分! 『一ケや小物に至るも 当しているため、より!	野では新郎新婦のバ のをデザイン、制作	ペーソナルカラー診 しトータルでカラー		
	目的及び概要	に見られたいのかを の分野で活用出来	確認し、カラーによる知識を身につける。	kを理解する。そこか って印象を操作するフ 。 また、ざまざまな体: タルコーディネートを	方法を学ぶ。また、さ 型に合わせたコーデ	まざまな配色方法を ィネートを色とデザイ	学ぶことでそれぞれ		
	到達目標	・色の基礎知識を	デュースすることが 説明する事が出来 に応じた配色をする	る。					
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書			な	:L				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細			
第1回	1	色を勉強	する意味	美容	業界においてカラー	ーを勉強する意味を	知る		
第2回	2	自分や友達を	色で表現する		自分とクラスメイ	トを色で表現する			
第3回	3	色彩心理	 理を知る		色の意味	未を知る			
第4回	4	色の基本的知	1識を理解する	色のヨ	E属性とトーンを理	解する(色相ゲーム	など)		
第5回	5	色の基本的知	色の基本的知識を理解する 色の三属性とトーンを理解する				 作)		
第6回	6	色の基本的知	1識を理解する	色の三属性とトー	-ンを理解する(ト-	-ン図を作りながら	色の変化をみる)		
第7回	7	パーソナルカラー	の基礎知識を知る	パー	ソナルカラーにおけ	ける色の違いを理解	する		
第8回	8	パーソナルカラーにおけ	る色の違いを理解する	シーズン毎の色をボードを作りながら確認する					
第9回	9	ファッションコ	コーディネート		自分のファッション	/を分析する			
第10回	10	ファッションコ	コーディネート	f	本型に合わせたコー	ーディネート術を知る	3		
第11回	11	今まで	の復習		今までの当	学習の復習			
第12回	12	7:	スト		テ	スト			
第13回	13	テスト	·返却	テストの	振り返り・イメージュ	・一ワードから配色	を考える		
第14回	14	酉己	色		イメージキーワート	から配色を考える			
第15回	15	酉	色		季節に応じ	た配色方法			
	初回持ち物	のり、はさみ、カラ	ーカード199a、筆言	己用具					
		•出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	<u> </u>	定期試験 実技試験 実施しない(提出物)					
	成績評価 基準(右記)		出席率	宁 期	試験	夫他しない 			
	点数300~250点			優れている以上					
		A評価	90%以上		80点以上	優れている以上	80点以上		
	点数249~200点 	B評価 L	85%以上	普通以上 	60点以上	普通以上 ————————————————————————————————————	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
	点数149点以下	D評価	期末試験未受験・	定期試験平均点半分	分以下•課題補講未会	完了•平常点授業妨害	통39点以下の場合		

	科目名		和装着付け	クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	=	後期	30 時間	1年合計単位	30 時間		
	2年単位	前期	45 時間	後期	ı	2年合計単位	45 時間		
			Į į	朱式会社アンズガ- -	ーデン 溝畠奈緒美	•			
	担当講師	実務経験	有	和装の基礎知識や 選び方も指導して		:ともに、お客様へ <i>の</i>	対応や着物の		
	目的及び概要	ブライダルサロン		:なる訪問着や振袖		のたたみ方から浴 が出来るように進め			
	到達目標	浴衣自装・他装	(肌着~帯結びまで	で)20分で着付け					
:	授業運営方法			演習形式)・	講義形式				
	教科書			必要に応じて	プリント配布				
	<授業計画>			後	期				
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細			
第1回	1.2	基	本		着物の種	類や名称			
第2回	3•4	基	本		婚礼衣装	について			
第3回	5•6	基	本	着	着物に触れる たたみ方 肌着の付け方				
第4回	7•8	自装 浴衣	自装 浴衣の着付け① 肌着~浴衣まで						
第5回	9•10	自装 浴衣	の着付け②		浴衣~带	結びまで			
第6回	11.12	自装 浴衣	の着付け③		浴衣 自装	長トータル			
第7回	13.14	他装 浴衣	の着付け①		肌着~>	谷衣まで			
第8回	15•16	他装 浴衣	の着付け②	浴衣~帯結びまで					
第9回	17•28	他装 浴衣	の着付け③	浴衣 他装 トータル					
第10回	29•20	テストに	向けて		テストに	に向けて			
第11回	21-22	テン	スト	筆記 /	加着~浴衣 自装	長・他装着付け (各	20分)		
第12回	23-24	テスト結	果 復習		テスト	見直し			
第13回	25•26	補正に	ついて		補正	を作る			
第14回	27•28	長襦袢の	着付け①		長襦袢の	の付け方			
第15回	29•30	長襦袢の	着付け②		長襦袢の	の付け方			
	初回持ち物	筆記用具 ネーム	ペン						
		·出席率			0	筆記			
	成績評価方法	・定期試験や小テス・授業参加意欲	١	定期試験		実技			
			出席率	実施しない(提出					
J	点数300~250点	A評価	90%以上				80点以上		
J	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
J	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
		D評価		定期試験平均点半分	といて・理題補議士3	•	20点以下の場合		

	ラブ・ババ及来自由)								
	科目名		アロマベーシック	クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	15 時間	, , , , , ,					
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				安齋	孝子				
	担当講師	実務経験	有		ピストとして必要な	盟校講師・同時にサ 知識、接客のポイン			
	目的及び概要		水などのアロマクラ			限必要な使用方法、 を学び、ビューティの			
	到達目標	ハンドマッサージ等	シャルオイル (精油 等、セルフケアから 通じて心理への関	体や心にどのような		里解する。			
	授業運営方法			演習形式	· 講義形式				
	教科書			な	:L				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	-マ		授業内]容詳細			
		身近	な香り		思い出の香りと	:記憶の関係性			
第1回	1—3	アロマセ	ラピーとは	試香(グレー	プフルーツ・オレン	/ジ)・禁忌事項・バス	スソルト作成		
		精油の	種類①	試香(他村	甘橘系、ラベンダー	-・ティーツリー) 芳 ^シ	香浴体験		
		精油の	種類②	試香(ローズマリー・フランキンセンス・ゼラニウム)					
第2回	4—6	精油の	種類③	試香(ユーカリ・ペパーミント)マウスウオッシュ作成					
		オリジナルア	プロマクラフト	ブレンドについて 化粧水作成					
				試香(クラ)	セージ・サイプレス	ス・サンダルウッド)ク	ルイパック		
第3回	7—9	香りと心理	里について	カラーセラピーの体験・マインドマップ作成					
		試験対策と	集中カアップ		禁忌事項について	の確認と前期復習			
第4回	10—12	期末	試験		討	t 験			
		ヘッドマッ	ーサージ	マッサ	ージ用スプレー作	:成・ヘッドマッサ <i>ー</i> ジ	沙体験		
		期末試	 験返却	試具	 験フィードバック	 悸りのマインドマップ			
第5回	13—15	クラフ	卜作成	ブレ	<i>、</i> ンドオイル作成・ <i>、</i>	ハンドトリートメント体	験		
	初回持ち物	筆記用具 専用ノ	ート(B5サイズ) っ	マグカップ (プラスチ	・ック不可) バスタ				
		·出席率			0	筆記			
	成績評価方法 ・定期試験や小テスト 定期試験 実技試験 ・授業参加意欲 実施しない(提出)								
	成績評価 基準(右記	・授業参加意欲 上海率 上海率 上海率 上海率 上海 上海 上海							
		合計点) A評価	出席率 90%以上						
	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
		D評価	期末試験未受験・	 定期試験平均点半タ		┃ 完了•平常点授業妨害	₹39点以下の場合		

			7 7, \						
	科目名	ヨガベーシック		クラス名 Q1E					
	1年単位	前期	15 時間	77.12					
	2年単位	前期	-	後期	-	2年合計単位	-		
				岩木	浩子				
	担当講師	実務経験	有	30年間の指導経 楽しさを伝える。	験をいかし、∃ガ、Ⅰ	ピラティスを通して運	動の必要性や		
	目的及び概要			習得、グループ活動 考え行動ができる。		しさやコミニケーショ :	ン力を高める。講		
	到達目標	基本ポーズを正し	く取れるように体力	」、柔軟性を高める	。期末試験の課題	として「太陽礼拝ポ-	ーズ」を覚える。		
	授業運営方法			演習形式	講義形式				
	教科書			な	l				
	<授業計画>			前	期				
回数	コマ数	テー	-マ		授業内	容詳細			
第1回	1								
第2回	2	ヨガ実技	支•座学	ヨガ体	験 呼吸/歴史/1	ヽタヨガ 授業ガイ	ダンス		
第3回	3								
第4回	4								
第5回	5	ピラティス	実技•座学	ピラティス体験 呼吸/歴史/コア グループ活動(姿勢					
第6回	6								
第7回	7								
第8回	8	実技	/座学	チャクラ・プ	ラーナ 太陽礼持	耳ポーズ練習 グル	レープ活動		
第9回	9								
第10回	10								
第11回	11	実技	/座学	ヨガ豆知詞	敞 基本・太陽礼	拝ポーズ練習 グ	ループ活動		
第12回	12								
第13回	13		-						
第14回	14	│ 期末テスト/瞑測 │ サージ	想withヘッドマッ アロマ	期末テス	ト ヘッドマッサー	ージと瞑想で究極症	癒し体験		
第15回	15								
	初回持ち物	運動に適した服装	・筆記用具・ヨガ専	用ファイル・水分補	i給・タオル				
		•出席率				筆記			
	大橋正画力な 一と新武教 ピバナスト 上新武教				実技記				
	・授業参加意欲			⇔ #0	≣-+ Fr->				
F.	成績評価 基準(右記 点数300~250点	A評価	出席率 90%以上				80点以上		
Я	点数249~200点	B評価	85%以上	普通以上	60点以上	普通以上	60点以上		
F	点数199~150点	C評価	80%以上	やや劣る以上	59点以下 ~平均点半分以下	やや劣る以上	40点以上		
•				受験・定期試験平均点半分以下・課題補講未完了・平常点授業妨害39点以下の					

- ジー・プロラ			
ジー・プロラ			
日本ヒーリングリラクセーション協会【JHRS】認定リフレクソロジー・プロライセンス実技士。実務経験を活かしてお客様にあった施術計画や実践ができるよう、リフレクソロジーの基礎を伝えていく。			
なすることで本 に学びます いため、技術			
なし			
前期			
授業内容詳細			
リフレクソロジーの理論と歴史について 基本の指使い 実践 ハンドリフレクソロジー 実践 (不調別リフレクソロジー頭痛・肩こり・目の疲れ編)			
			実践 (不調別リフレクソロジー冷え・むくみ・肌荒れ編)
実践 (不調別リフレクソロジー便秘・腰痛・生理痛編)			
€)			
出物) ————————————————————————————————————			
80点以上			
60点以上			
40点以上			
以下の場合			
8			